

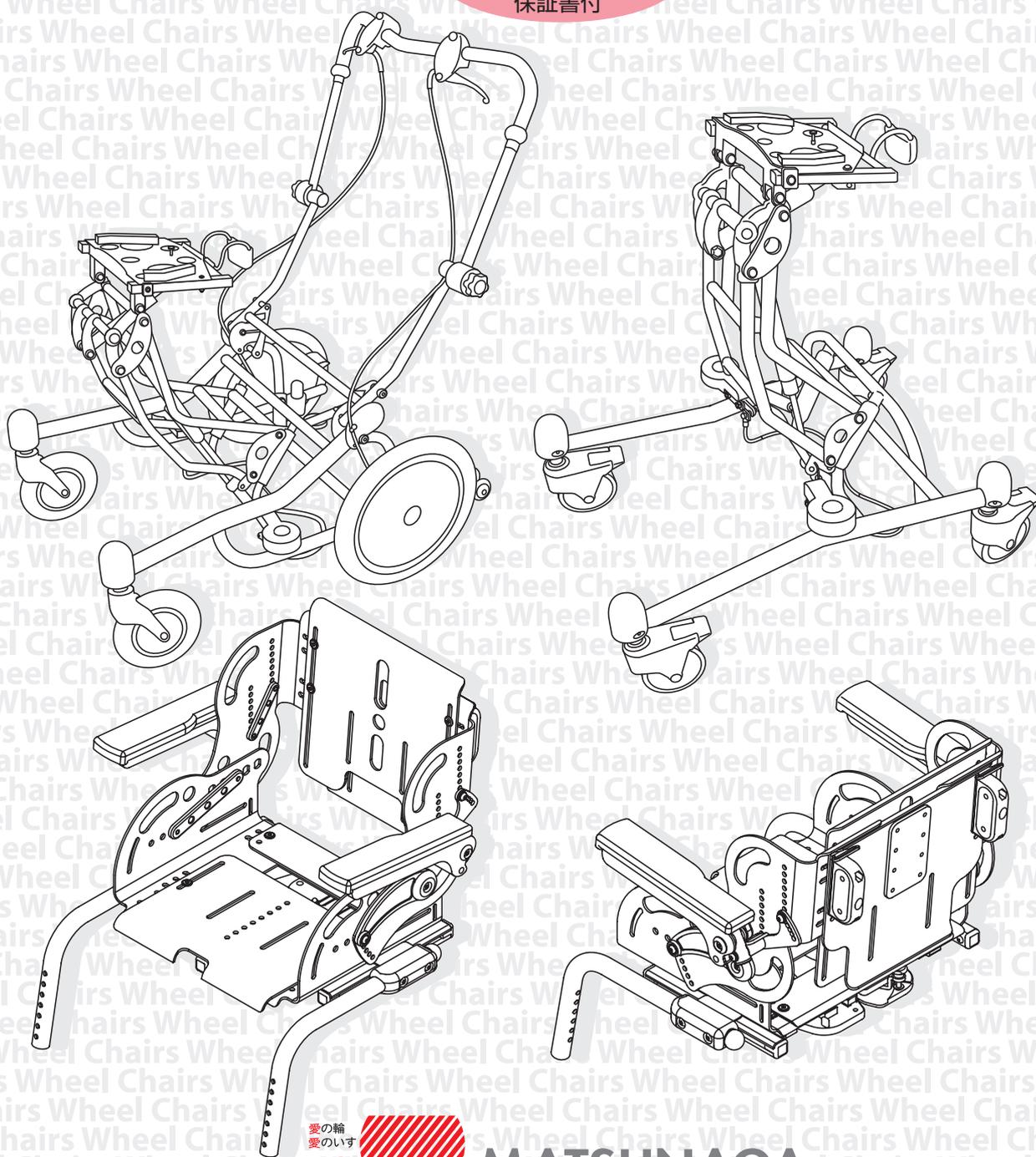
マツナガの姿勢保持装置

MINTシリーズ

取扱説明書

保存用

保証書付



MATSUNAGA

このたびは、(株)松永製作所の製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

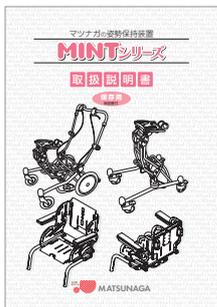
この取扱説明書には、お客様が安全に正しくご使用していただくために必要な注意事項や使用方法が説明してあります。ご使用になる前には必ずお読みください。また、保証書が付いていますので紛失しないように大切に保管し、必要に応じてお読みください。

車いすがお身体に合わない場合には、ご使用にならないでください。(健康をそこなう恐れがあります。)そのような場合には、購入されたお店、かかりつけの病院にご相談ください。

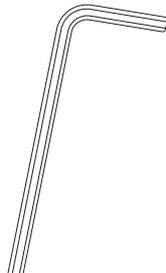
- お買い上げの製品は改良などにより、この「取扱説明書」の内容と一部異なる場合があります。
- ご不明な点がございましたら、お買い上げの販売店または、直接弊社までお問い合わせください。

以下の物が同梱されているか、確認してください。

付属品



取扱説明書



六角レンチ
(対辺4mm)

- 万一、不足品がありましたら、すぐにお買い上げの販売店、または松永製作所にご連絡ください。

ご使用前に

出荷時には検査をしておりますが、ご使用前に次のご確認をお願いいたします。

- 箱が破損したり、濡れたりしていないか。
- 各部の破損・キズ、フレームのゆがみ、ボルト・ナットや部品の脱落はないか。
- 付属品はすべて揃っているか。
- タイヤの空気圧は適正か。(タイヤを指で押さえ確認してください。)(P.19参照)

もし異常があればご使用にならず、すぐにお買い求めの販売店または、弊社までご連絡ください。

目次

安全にお使いになるためのご注意	2
シートシェル	4
各部の名称・寸法	4
初めてお使いになる場合	5
フットパイプの前後調整	5
アームサポート高さ・角度調整	6
アームサポート前後調整	7
背角度調整	8
背高調整	9
座奥行の調整	10
座幅の調整	12
シートシェルの取付け・取外し	14
お家でミント	15
各部の名称・寸法	15
上下昇降の方法	16
ティルト操作の方法	17
4インチストッパー付キャスト	17
おでかけミント	18
各部の名称・寸法	18
ご使用の前に	19
ブレーキの使用法	19
広げ方・折りたたみ方	20
上下昇降の方法	21
ティルト操作の方法	22
押手の使用法	23
転倒防止の使用法	23
介助の仕方	24
外出時の注意	26
共通事項	27
その他の注意事項	27
もしこんなトラブルが発生したときは	27
車いすのお手入れ方法	28
保管場所	28
点検シート	29
保証書	30

安全にお使いになるためのご注意



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定されることを示します。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があることおよび物的損害の発生する可能性が想定されることを示しています。

お守りいただく内容の説明



この表示は、してはいけない「**禁止**」内容です。



この表示は、必ずしていただく「**強制**」内容です。

警告

(禁止)



しては
いけない

- タイヤの空気圧が少ない状態で、使用しないでください。
ブレーキのロックが出来なくなり、車いすが動いたりして、事故の原因となります。
また、タイヤのパンクの原因となります。
- シート台座の上で立ち上がらないでください。
転倒事故の原因となります。

(強制)



必ずして
いただく

- シートシェルのロックが確実にされていることを確認してから使用してください。
シートシェルが外れ、転落事故の原因となります。
- 昇降操作はシート(台座)部分を支えながらゆっくり行ってください。
人が乗っていない状態(シートシェルを取り付けていない状態)では強力なバネ(ガススプリング)の作用により、急に台座が上昇します。人が乗っている状態では、人の重みで急に下降する場合があります。
特に小さなお子様は操作したりしないように十分注意してください。
顔や手などをぶつけたり、手や足がはさまり、ケガをする恐れがあります。
- 昇降操作・ティルト操作時は、ブレーキをかけてください。
不意に車いすが動き、転倒・転落等事故の原因となります。
- 必ず押手が固定されていることを確認してから使用してください。
押手が急に倒れ、ケガや転倒事故の原因となります。
- 側溝の格子蓋、踏み切りのレール溝にキャストが落ち込まないように注意してください。
車輪が溝にはまって車いすが急に止まり使用者の体が前方に傾き、転落転倒事故の原因となります。

注意

(禁止)



しては
いけない

- 人が乗っているままの状態ですシートシェルの取付け・取外しは行わないでください。
シートシェルの取付け・取外しが適切に行われず、転落事故等の原因となります。
- 昇降操作時はシート(台座)部分を持ってください。フレーム部分などを持たないでください。
手や指などをはさんでケガをする恐れがあります。
- 押手パイプ、押手フレームを折りたたんだ状態のままで、昇降レバーを操作しないでください。
押手部分に昇降フレームが引っかかり故障の原因となります。
- 急ブレーキをかけないでください。
車いすに乗っている方が前方へ転倒する恐れがあります。
- ブレーキをロックしたまま制動用ブレーキを使用しないで下さい。
故障の原因となります。

- バックサポートパイブのみで、キャスト(前輪)を上げないでください。
バックサポートパイブが曲がったり、折れたりして、転倒して事故の原因となります。
- スピードをつけて、乗り越えようとししないでください。
使用者が車いすから、転落して事故の原因となります。
- 荷物を運んだりしないでください。
- 火気の近くに置かないでください。
タイヤがパンクしたり、シートが燃え火災の原因となります。

(強制)

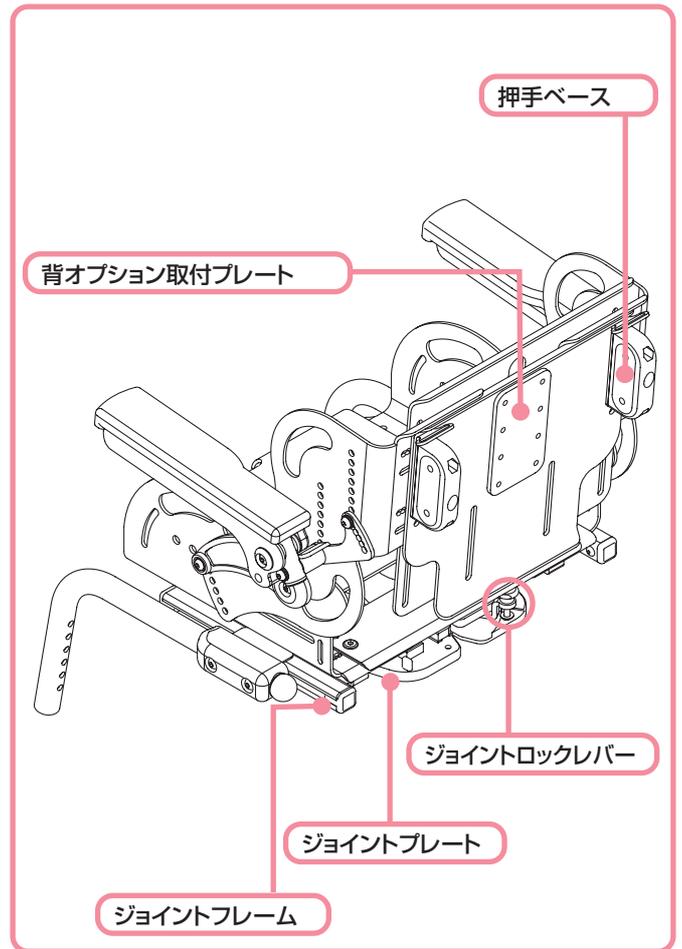
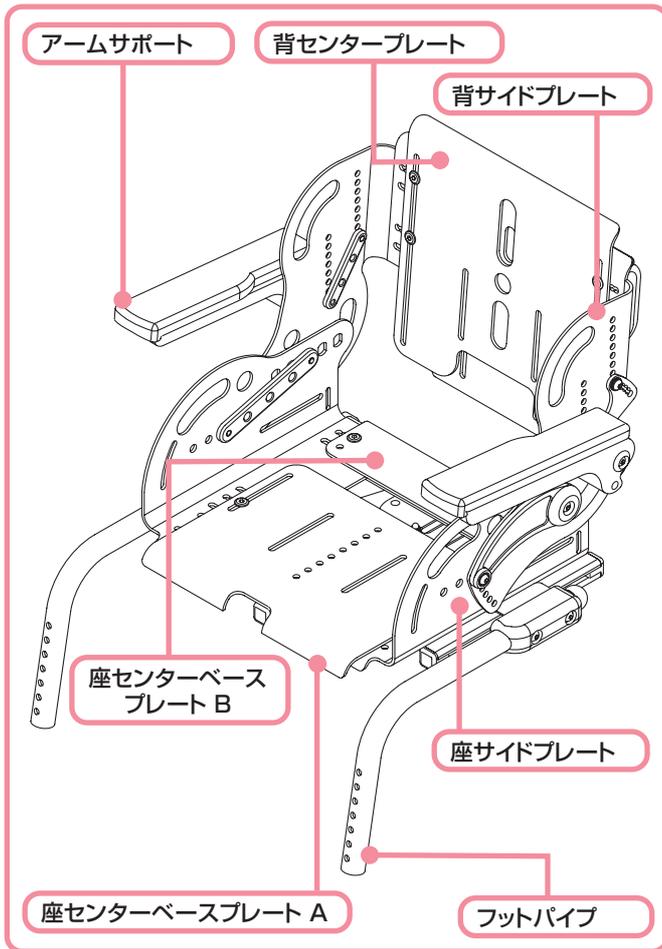


必ずして
いただく

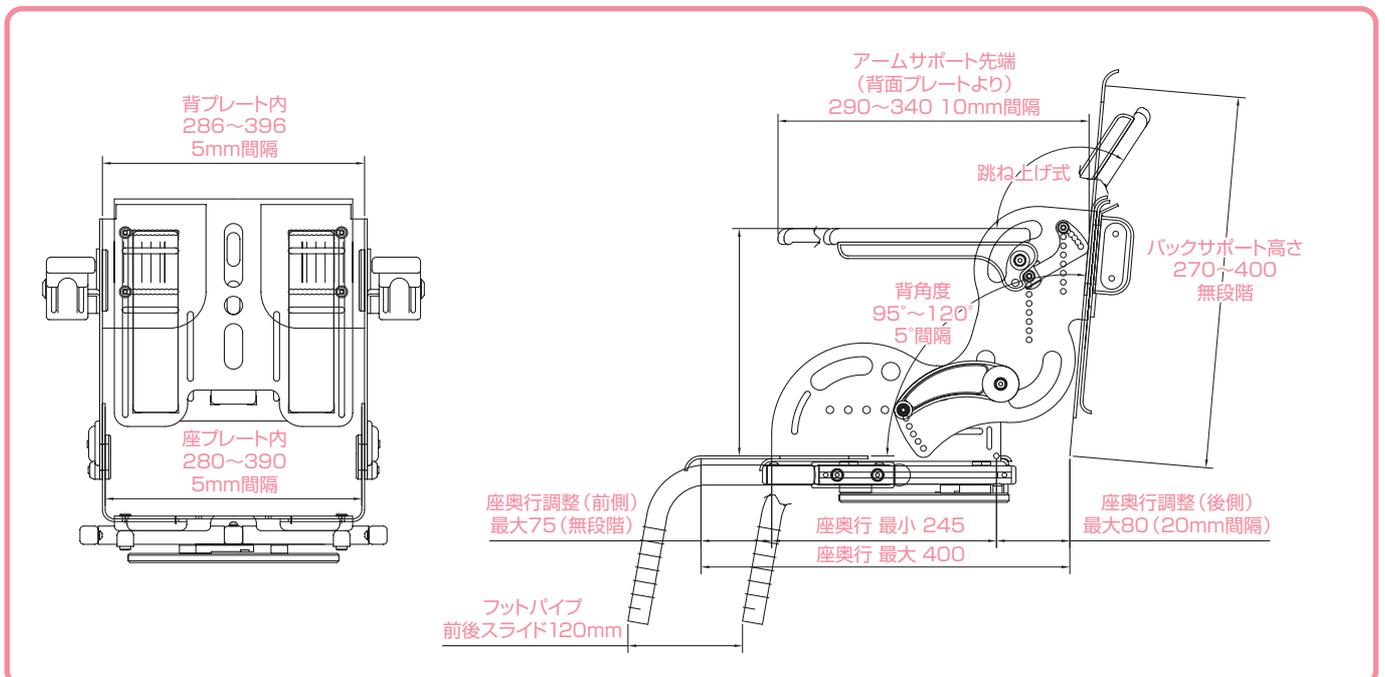
- 各部調節の際は、ボルトは必ずしっかりと締め、がたつきなど異常が無いか確認してください。
フットパイブが外れ転倒事故やケガの原因になります。
アームサポートが外れ転倒事故やケガの原因になります。
背角度が急に変わったり、背と座が外れたりして転倒事故やケガの原因になります。
背の高さが急に変わったり、背が外れたりして転倒事故やケガの原因になります。
前座プレートが急に動いたり、外れたりして転倒事故やケガの原因になります。
背・座などプレートが外れ、転倒事故やケガの原因になります。
- 左右対称になるように調整して下さい。
破損の原因になります。
- シートシェルをしっかりと持ち、取外しをしてください。
落とすとケガをしたり床などを傷つける恐れがあります。また故障の原因になります。
- 必ずブレーキをロックし、本体が動かないことを確認してから操作してください。
不意に動き、転倒・転落事故の原因となります。
- 昇降操作時の動作範囲を確認して使用してください。昇降操作に周囲と接触したりしないか確認してから操作してください。
人や物を傷つけたり、壊したりする恐れがあります。また本体の故障の原因になります。
- ティルト操作時はシート(台座)部分を持ってください。ガスシリンダ部分を持たないでください。
手や指などをはさんでケガをする恐れがあります。
- ティルト操作は必ずシート(台座)部分を支えながらゆっくり行ってください。人が乗っていない状態(シートシェルを取り付けていない状態)では強力なバネ(ガススプリング)の作用により、急に台座部分が傾きます。
特に小さなお子様が操作したりしないように十分注意してください。
顔や手などをぶつけたり、手や足がはさまり、ケガをする恐れがあります。
- 必ず押手(パイブ・フレーム)が固定されていることを確認してから使用してください。
押手が急に倒れ、ケガや転倒事故の原因となります。
- 押手フレームを上げる際にワイヤーが引っかからないように注意してください。
故障・破損の原因となります。
- 必ずブレーキをロックしてから折りたたんでください。
不意に車いすが動き、転倒・転落事故の原因となります。
- 折りたたむ際は必ずシートシェルは外し、フレームは降ろした状態で押手(パイブ・フレーム)を折りたたんでください。
押手部分と昇降フレームが引っかかり故障の原因となります。
- シートシェルは出来るだけ低い位置で移動してください。
転倒・転落して事故の原因となります。
- 使用者の足が地面や壁などの障害物に当たらないように確認して走行してください。
- 昇降操作時はシート(台座)部分を持ってください。フレーム部分を持たないでください。
手や指などをはさんでケガをする恐れがあります。
- 必ず転倒防止装置が固定されていることを確認してから使用してください。
転倒防止の役目を果たさず、転倒事故の原因となります。
- 介助者の方は、制動用ブレーキレバーを両側同時にかけてください。
バランスを崩し、転倒事故の原因となります。
- 移動中つま先が障害物に当たらないように、確認して走行してください。
- フットプレートに、足が乗っているか確認して走行してください。
- 坂道を下るとき介助者の方は、車いすを後ろ向きでゆっくり確認しながら走行してください。
前向きで下ると、乗っている人がすり落ちたり前のめりとなり、転倒事故の原因となります。

シートシェル

各部の名称



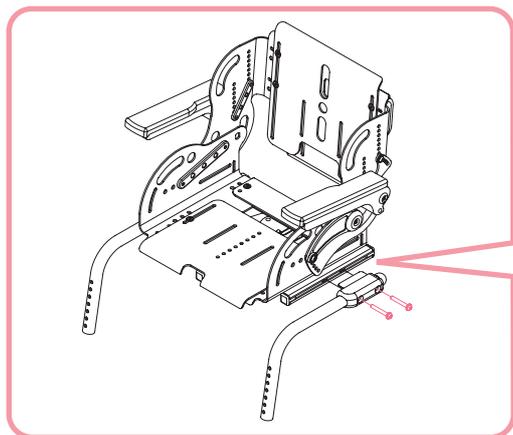
寸法



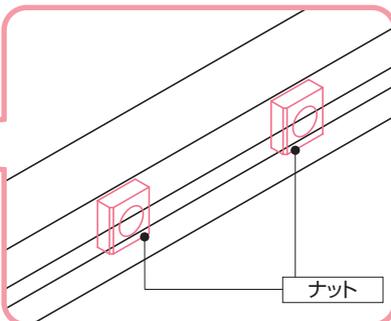
各部調整方法

初めてお使いになる場合

- 初めてお使いになる場合(箱から出した状態)は、フットパイプが取り付けられていませんので必要に応じて付属の六角レンチ(対辺4mm)で組み付けてください。



溝の中にナットが入っていますので、位置を合わせて左右それぞれ2本のボルトで固定します。



※適正トルク 6Nm

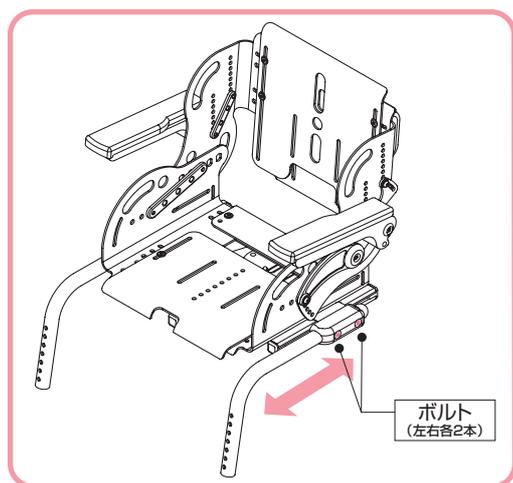
⚠ 注意

- 各部調節の際は、ボルトは必ずしっかりと締め、がたつきなど異常が無いか確認してください。(フットパイプが外れ転倒事故やケガの原因になります。)

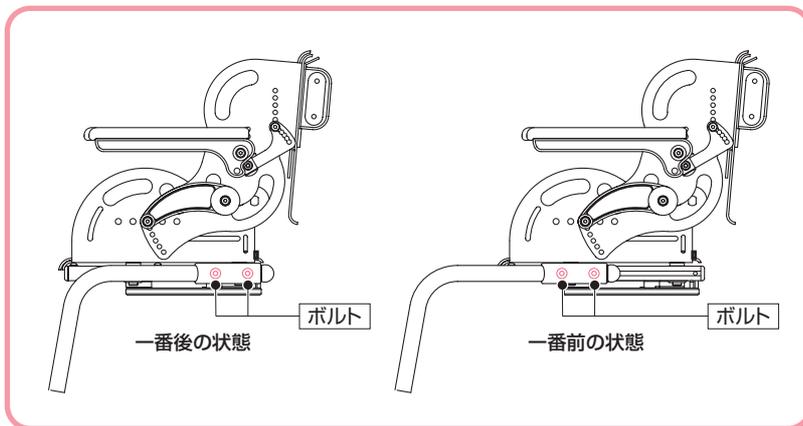
していただく

フットパイプの前後調整

- 使用者の体格に合わせて、フットパイプの位置が前後120mmの範囲で調整できます。(奥座行を変更した際にも必要に応じて調整してください。)



付属の六角レンチ(対辺4mm)を使用し、左右各2本のボルトを緩めて前後にスライドさせて最適な位置で固定してください。



※適正トルク 6Nm

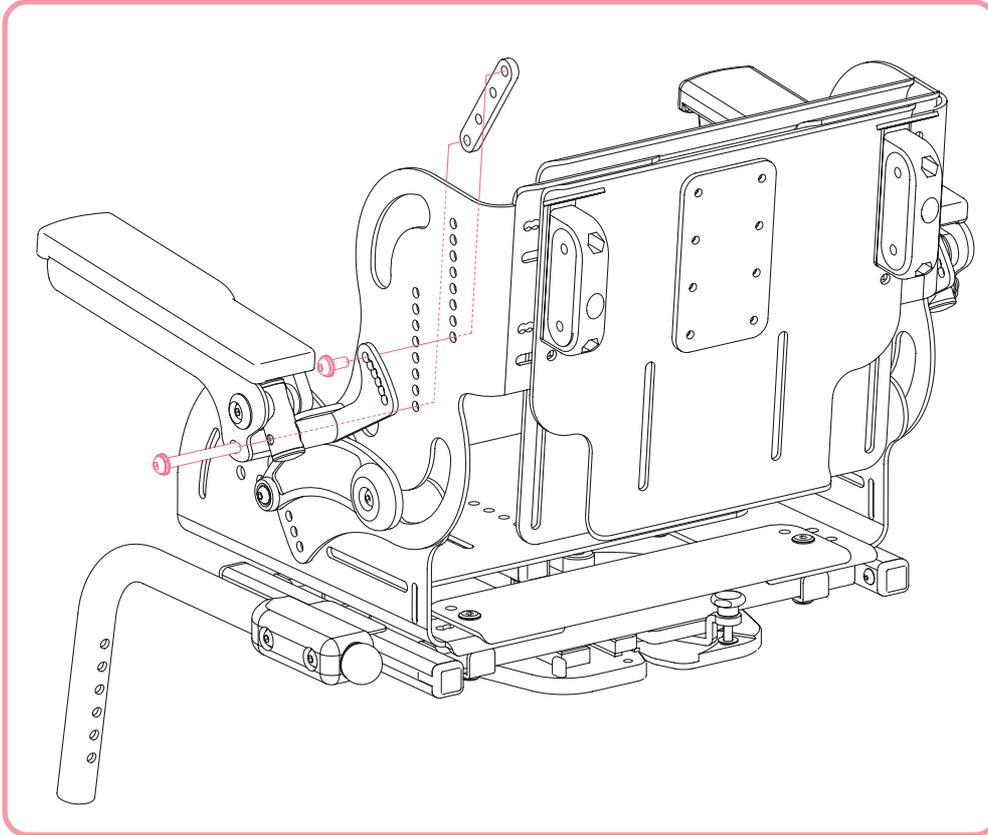
⚠ 注意

- 各部調節の際は、ボルトは必ずしっかりと締め、がたつきなど異常が無いか確認してください。(フットパイプが外れ転倒事故やケガの原因になります。)

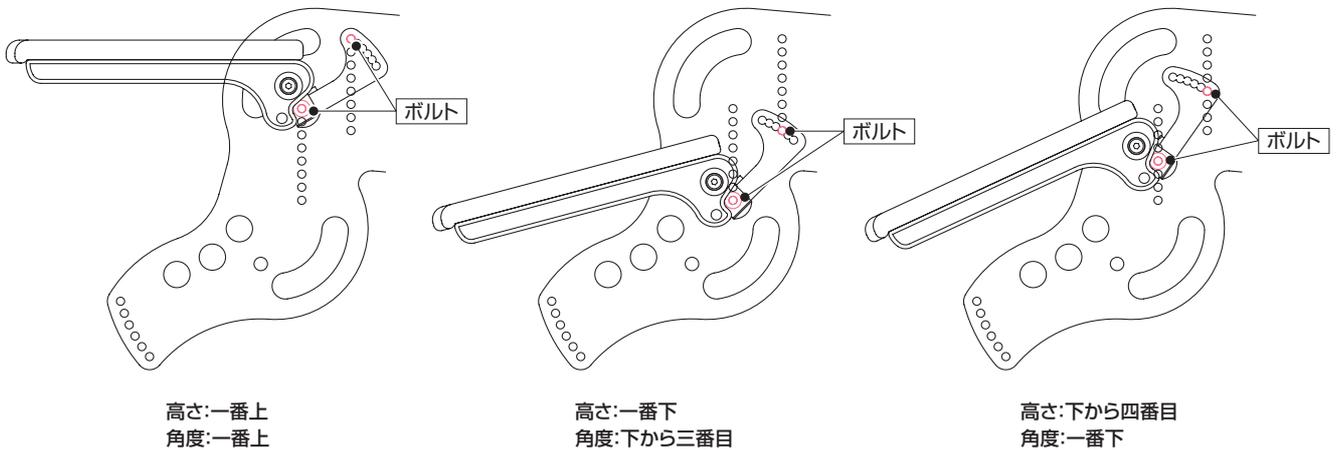
していただく

アームサポート高さ・角度調整

- ① 調整前にクッション等は取り外してください。
- ② 左右それぞれ2本のボルトを外して穴位置を変更して調整します。
- ③ 調整後はボルトを適正トルクでしっかりと締めてください。



※適正トルク 6Nm

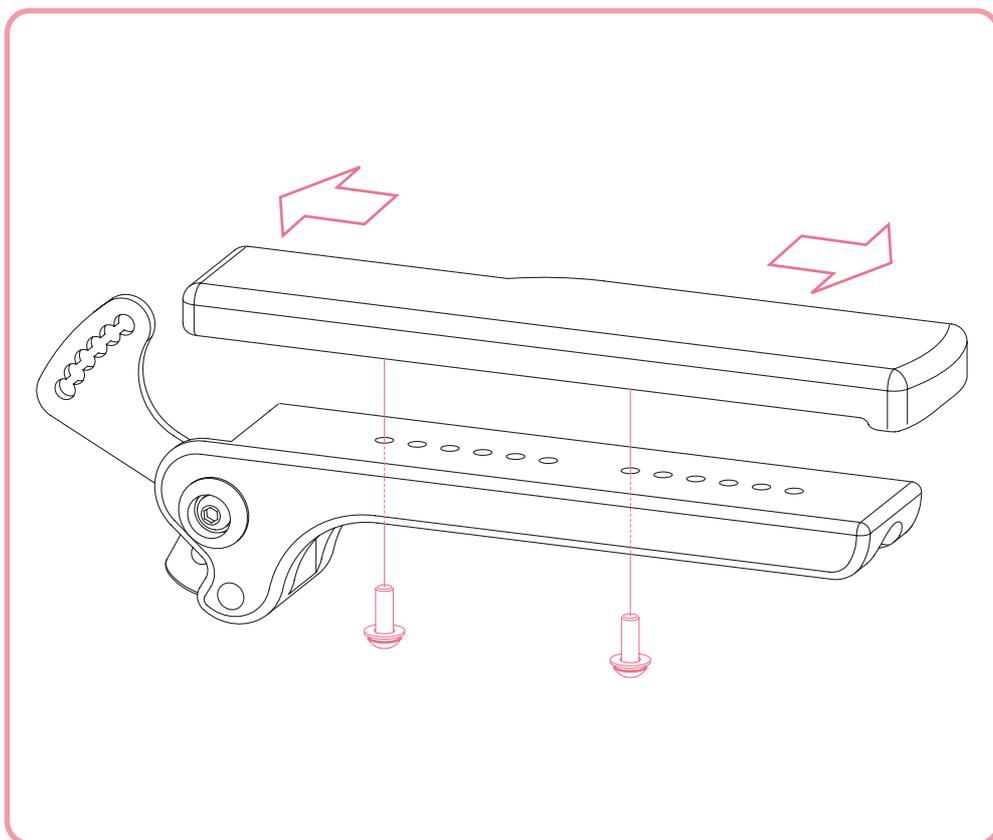


⚠ 注意

●各部調節の際は、ボルトは必ずしっかりと締め、がたつきなど異常が無いか確認してください。
(アームサポートが外れ転倒事故やケガの原因になります。)

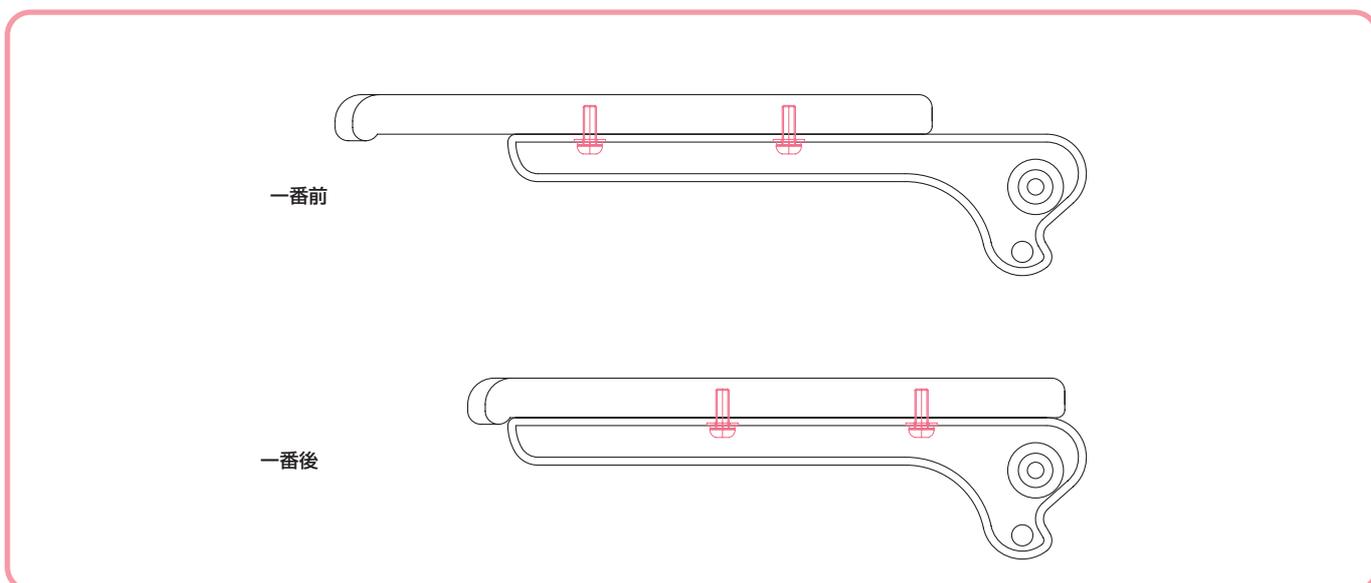
していただく

アームサポート前後調整



- ① アームサポート裏側の2本のボルトで調整します。
- ② 調整後はボルトを適正トルクでしっかりと締めてください。

※適正トルク 3~4Nm

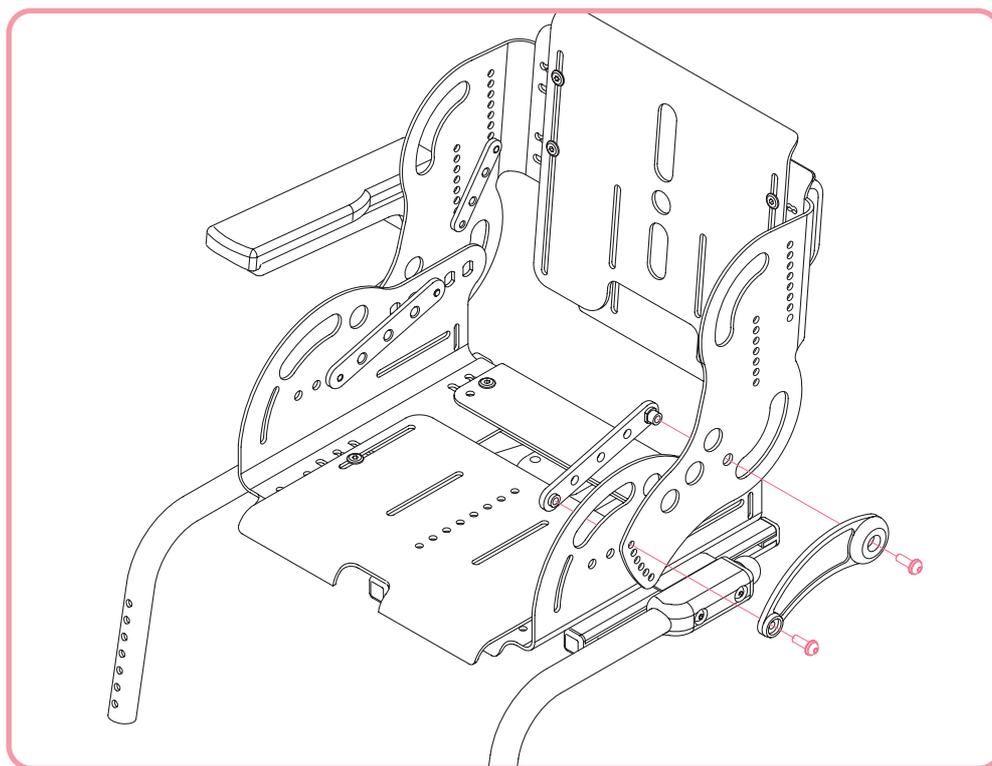


⚠ 注意

- 各部調節の際は、ボルトは必ずしっかりと締め、がたつきなど異常が無いか確認してください。
(アームサポートが外れ転倒事故やケガの原因になります。)

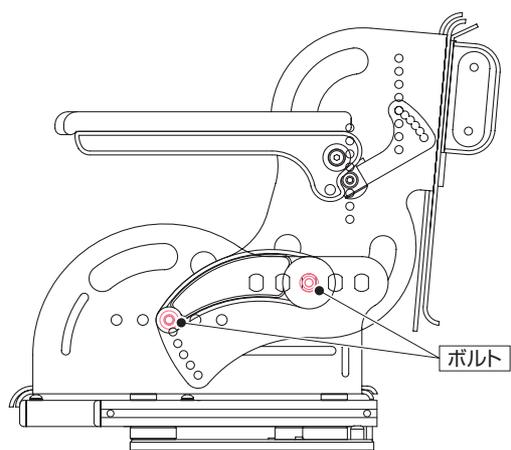
していただく

背角度調整

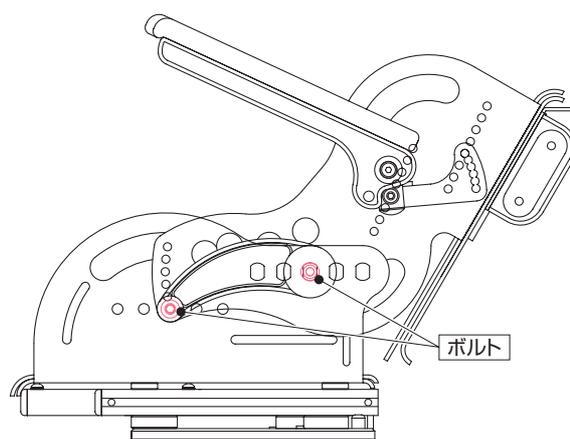


- 1 調整前にクッション等は取り外してください。
- 2 左右それぞれ2本のボルトを外して穴位置を変更して調整します。
- 3 調整後は左右対称になっていることを確認後、ボルトを適正トルクでしっかりと締めてください。

※適正トルク 6Nm



一番起こした状態



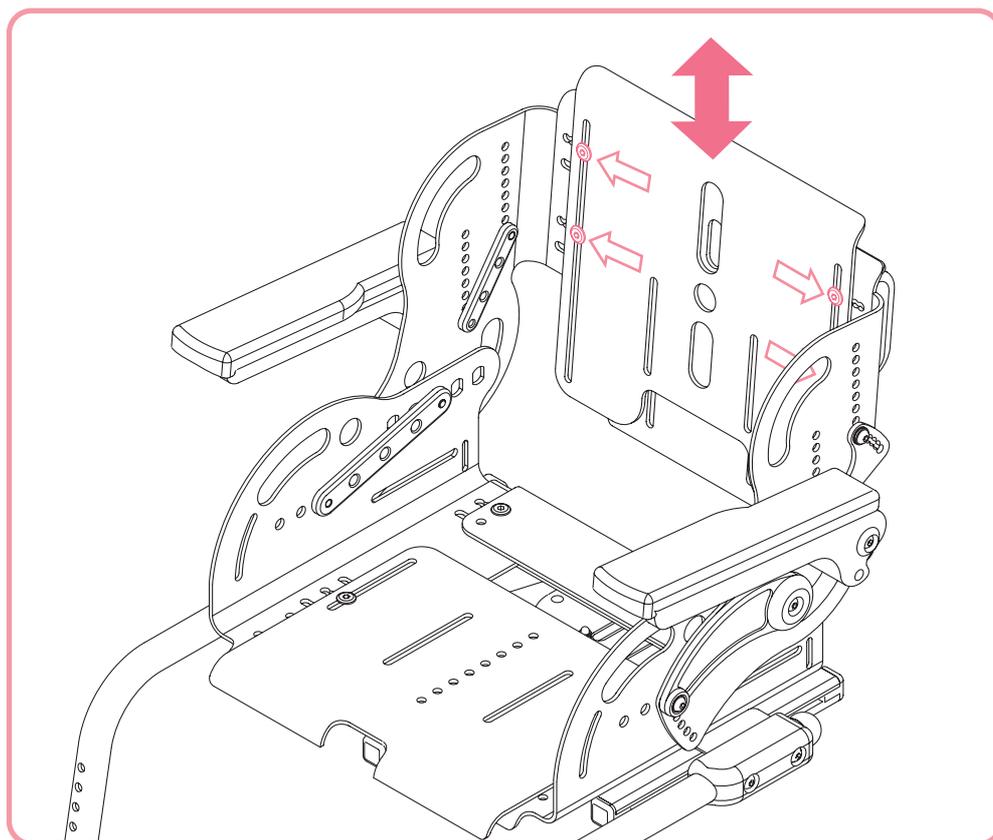
一番寝かせた状態

⚠ 注意

- 各部調節の際は、ボルトは必ずしっかりと締め、がたつきなど異常が無いか確認してください。
(背角度が急に変わったり、背と座が外れたりして転倒事故やケガの原因になります。)
- 左右対称になるように調整して下さい。
(破損の原因になります。)

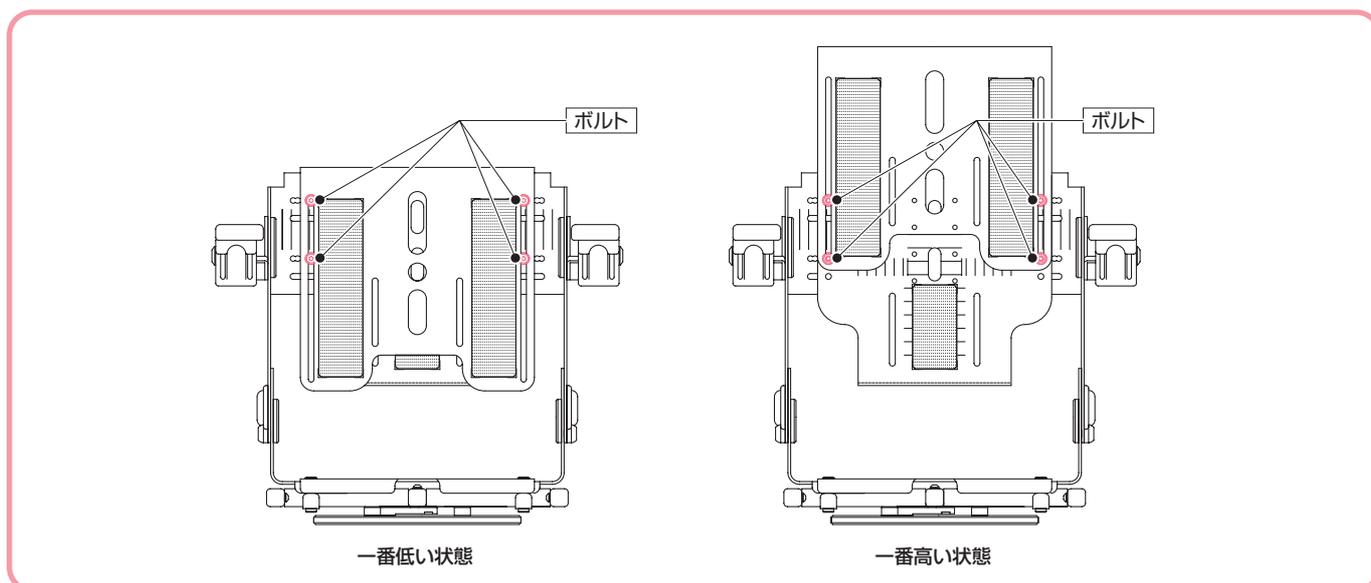
していただく

背高調整



- 1 調整前にクッション等は取り外してください。
- 2 左右それぞれ2本のボルトを緩めて背プレートを上下にずらして左右同じ高さに調整します。
- 3 調整後は適正トルクでボルトをしっかりと締めてください。

※適正トルク 6Nm

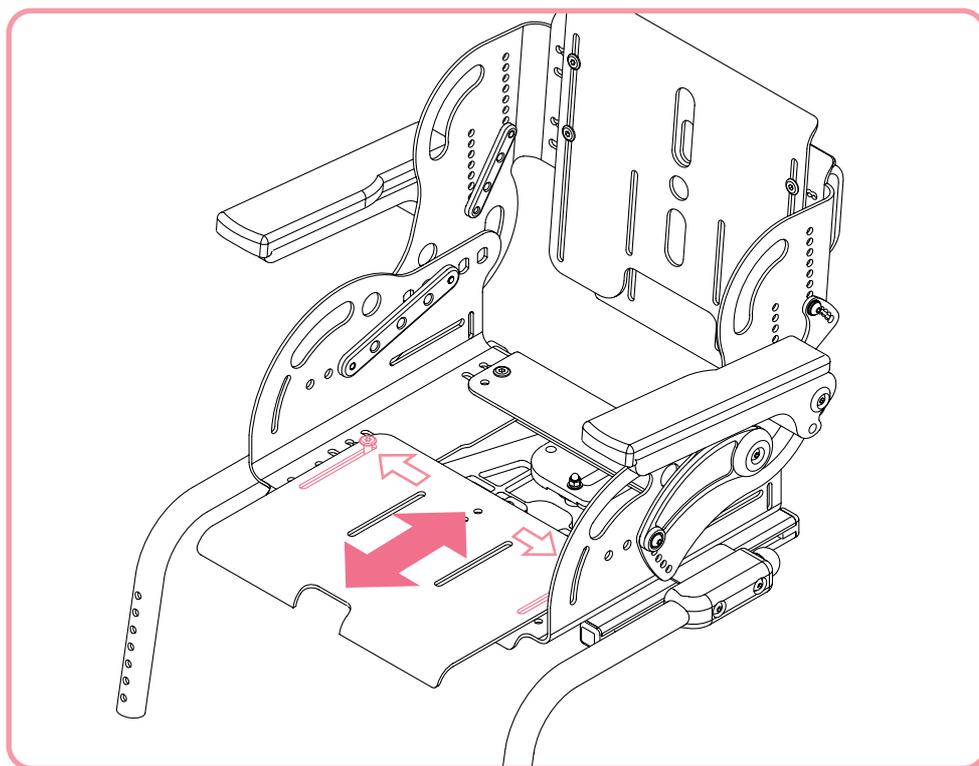


⚠ 注意

- 各部調節の際は、ボルトは必ずしっかりと締め、がたつきなど異常が無いか確認してください。(背の高さが急に変わったり、背が外れたりして転倒事故やケガの原因になります。)

していただく

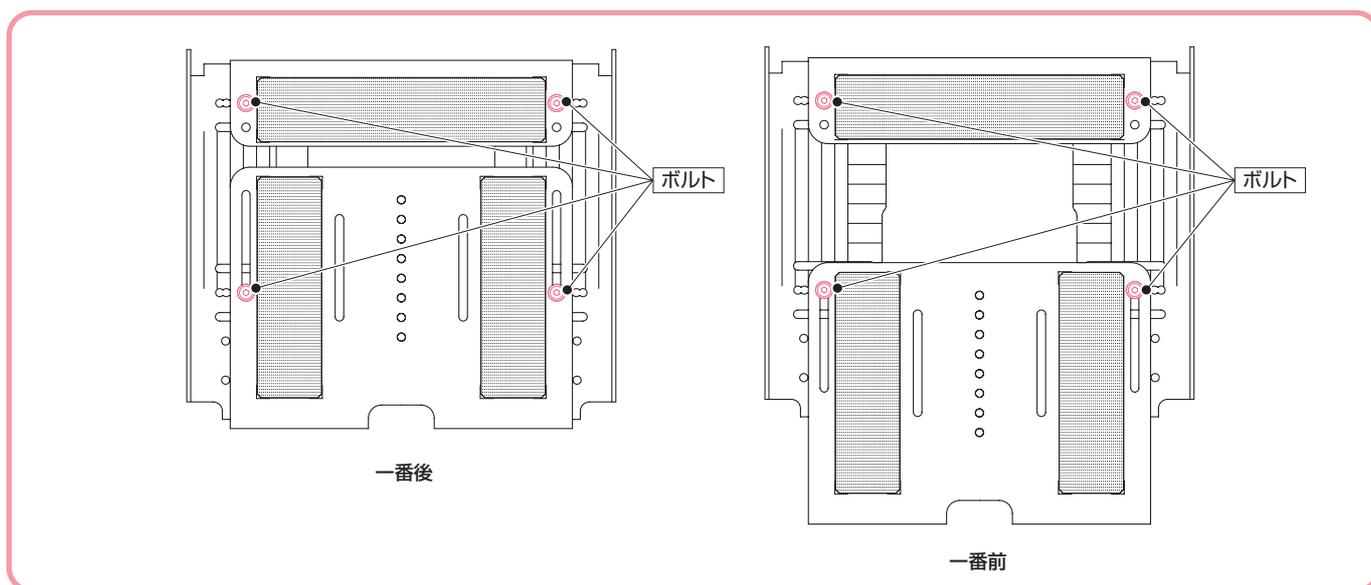
座奥行の調整 (その1)



※適正トルク 6Nm

●前座プレートによる調整

- 1 調整前にクッション等は取り外してください。
- 2 前座プレートのボルト2本を緩め (取り外す必要はありません) プレートを前後にずらし調整してください。
- 3 調整後はボルトを適正トルクでしっかりと締めてください。

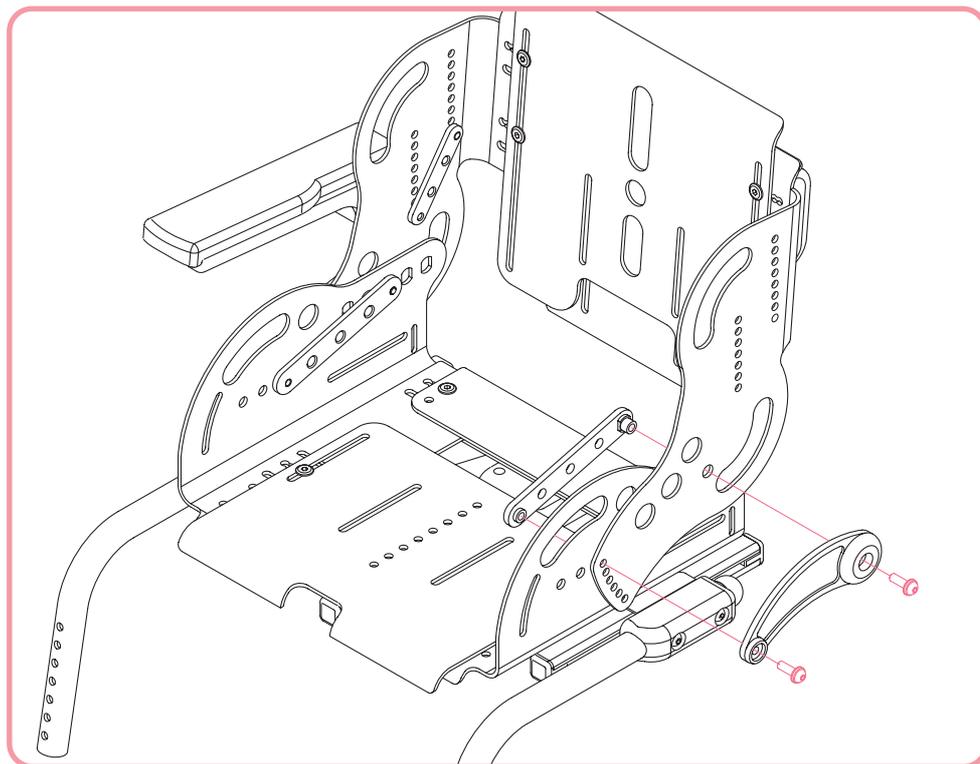


⚠ 注意

- 各部調節の際は、ボルトは必ずしっかりと締め、がたつきなど異常が無いか確認してください。(前座プレートが急に動いたり、外れたりして転倒事故やケガの原因になります。)
- 左右対称になるように調整してください。(破損の原因になります。)

していただく

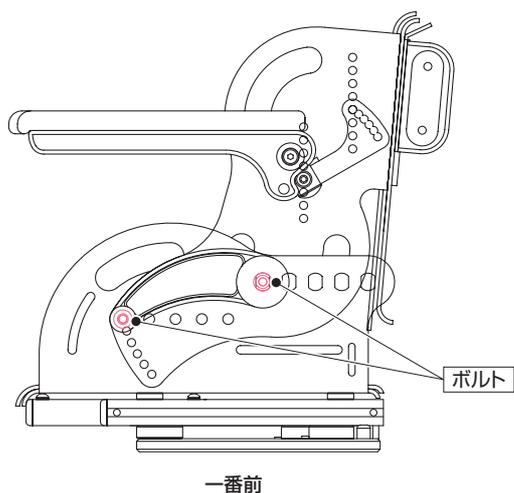
座奥行の調整 (その2)



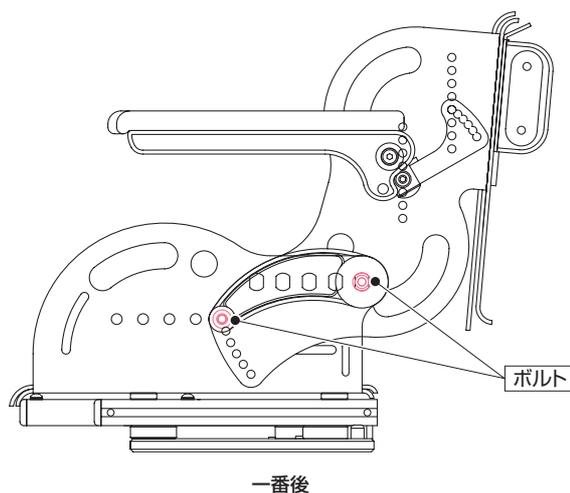
※適正トルク 6Nm

●背プレートによる調整

- 1 調整前にクッション等は取り外してください。
- 2 左右それぞれ2本のボルトを外して穴位置を変更して調整します。
- 3 調整後はボルトを適正トルクでしっかりと締めてください。



一番前



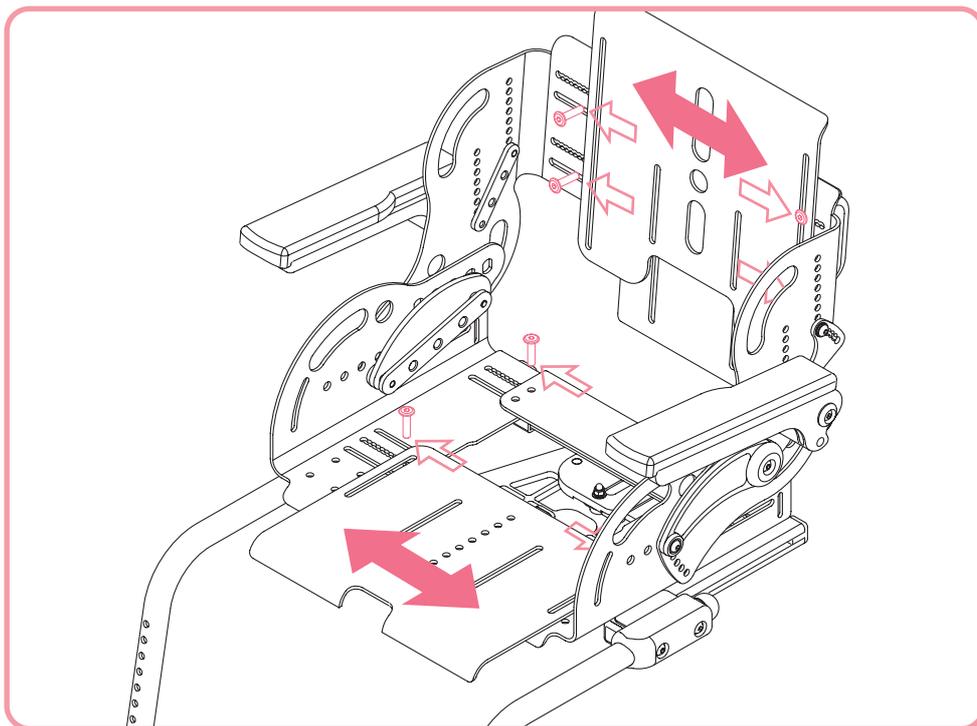
一番後

⚠ 注意

- 各部調節の際は、ボルトは必ずしっかりと締め、がたつきなど異常が無いか確認してください。
(背角度が急に変わったり背と座が外れたりして、転倒事故やケガの原因になります。)
- 左右対称になるように調整してください。
(破損の原因になります。)

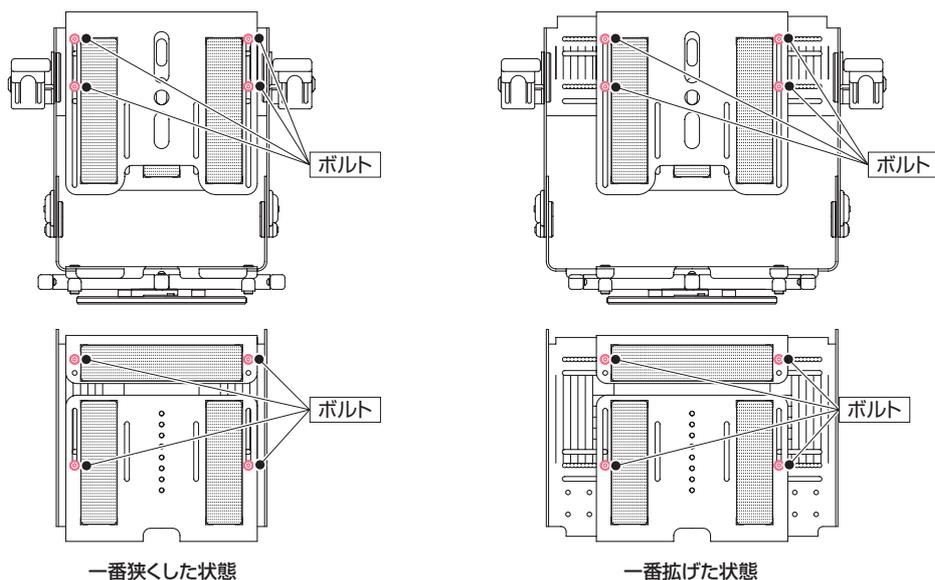
していただく

座幅の調整



- 1 調整前にクッション等は取り外してください。
- 2 背・座の左右それぞれ4本のボルトを外して、穴位置を変更して調整します。
- 3 調整後はボルトを適正トルクでしっかりと締めてください。

※適正トルク 6Nm

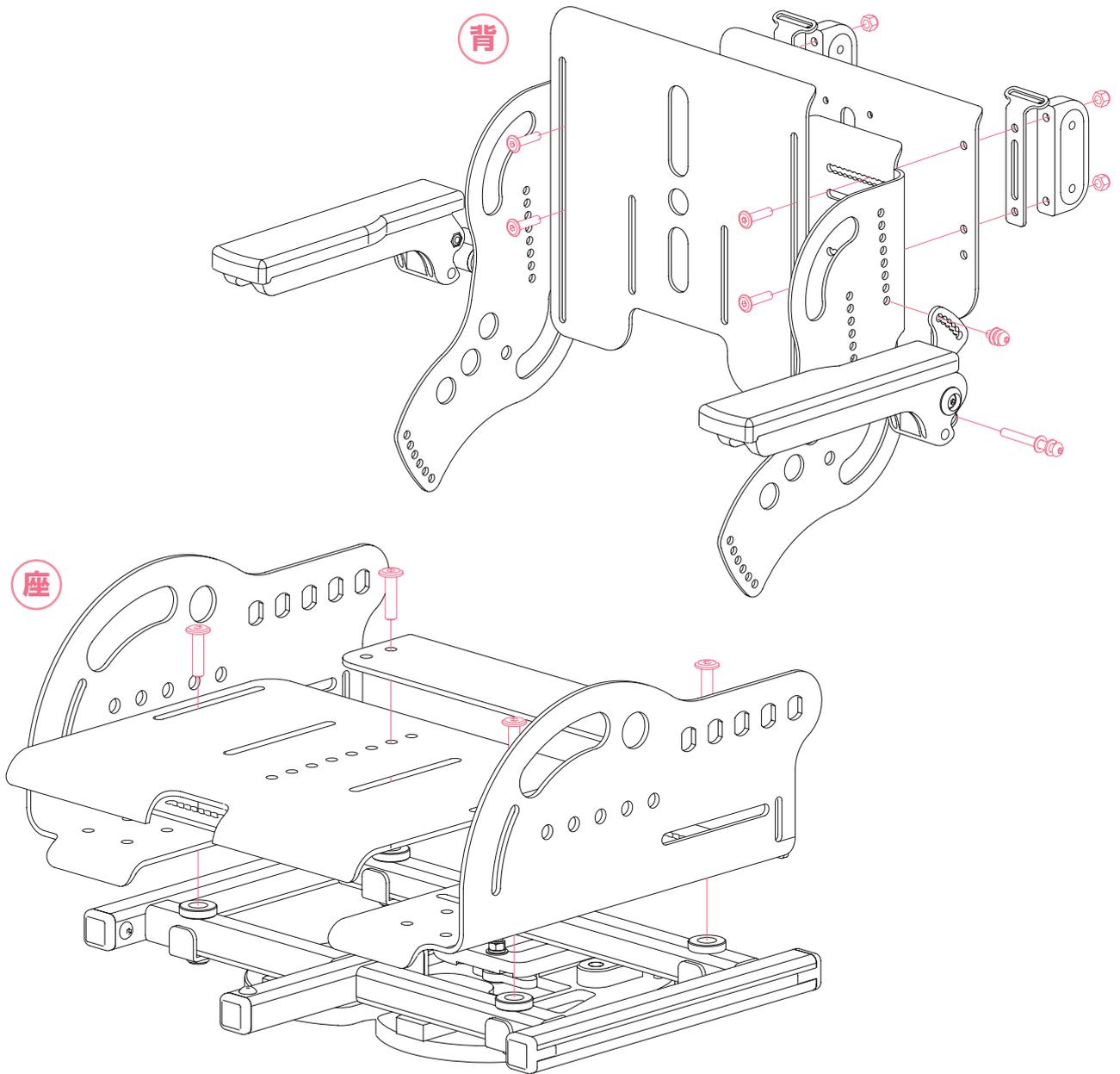


⚠ 注意

- 各部調節の際は、ボルトは必ずしっかりと締め、がたつきなど異常が無いか確認してください。
(背・座などプレートが外れ、転倒事故やケガの原因になります。)
- 左右対称になるように調整してください。
(破損の原因になります。)

していただく

分解図



シートシェルの取付け・取外し

- ミントシリーズ (お家でミント・お出かけミント等) は互換性がありますので、シートシェルを載せかえて使用することができます。

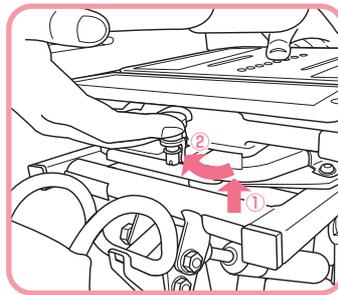
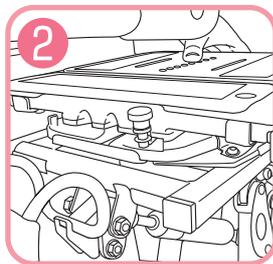
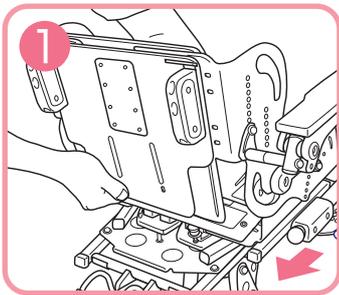
⚠ 注意

- 人が乗っているままの状態でのシートシェルの取付け・取外しは行わないでください。
(シートシェルの取付け・取外しが適切に行われず、転落事故等の原因となります。)

してはいけない

〈取付け方法〉 〈必ず本体のブレーキをロックし、動かない状態にしてください〉

- ① シートシェルを後方 (板に当たるまで) へ、スライドさせます。
- ② ロックピンを上へ持ち上げて後方へ回転させます。



ロックした状態

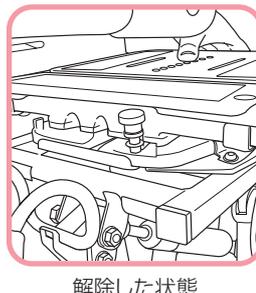
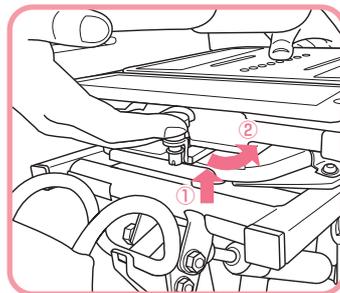
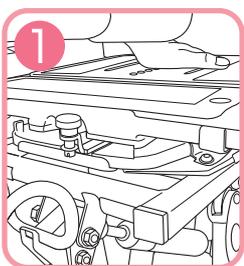
⚠ 警告

- シートシェルのロックが確実にされていることを確認してから使用してください。
(シートシェルが外れ、転落事故の原因になります。)

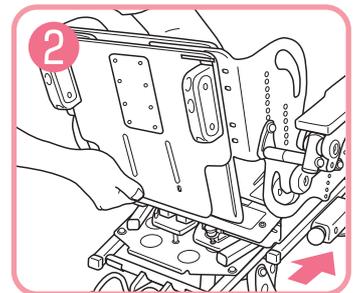
していただく

〈取外し方法〉 〈必ず本体のブレーキをロックし、動かない状態にしてください〉

- ① ロックピンを上へ持ち上げて前方へ回転させ凹穴へ入れます。
- ② シートシェルを前方へスライドさせ取外します。



解除した状態



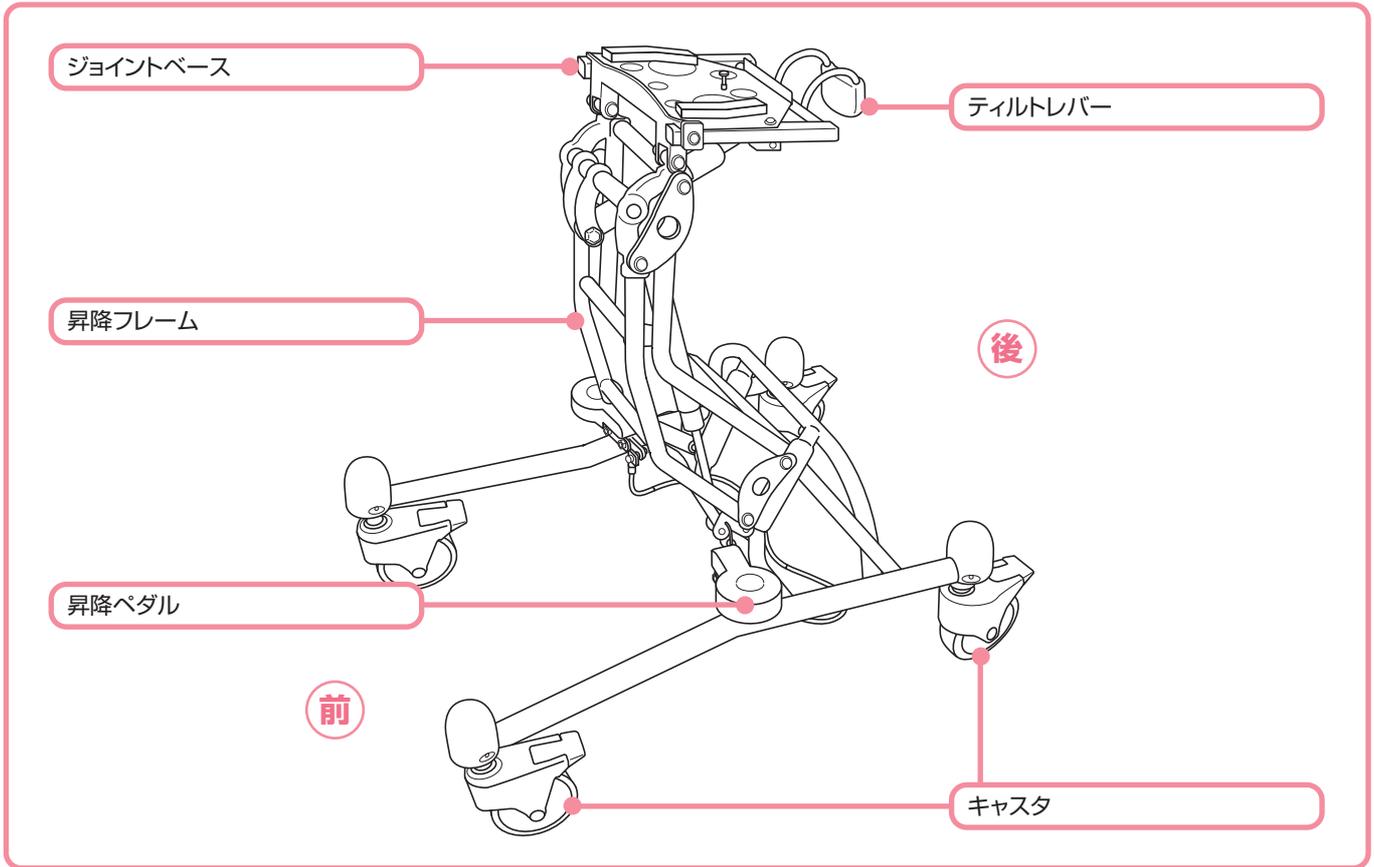
⚠ 注意

- シートシェルをしっかりと持ち、取外しをしてください。
(落とすとケガをしたり床などを傷つける恐れがあります。また故障の原因になります。)

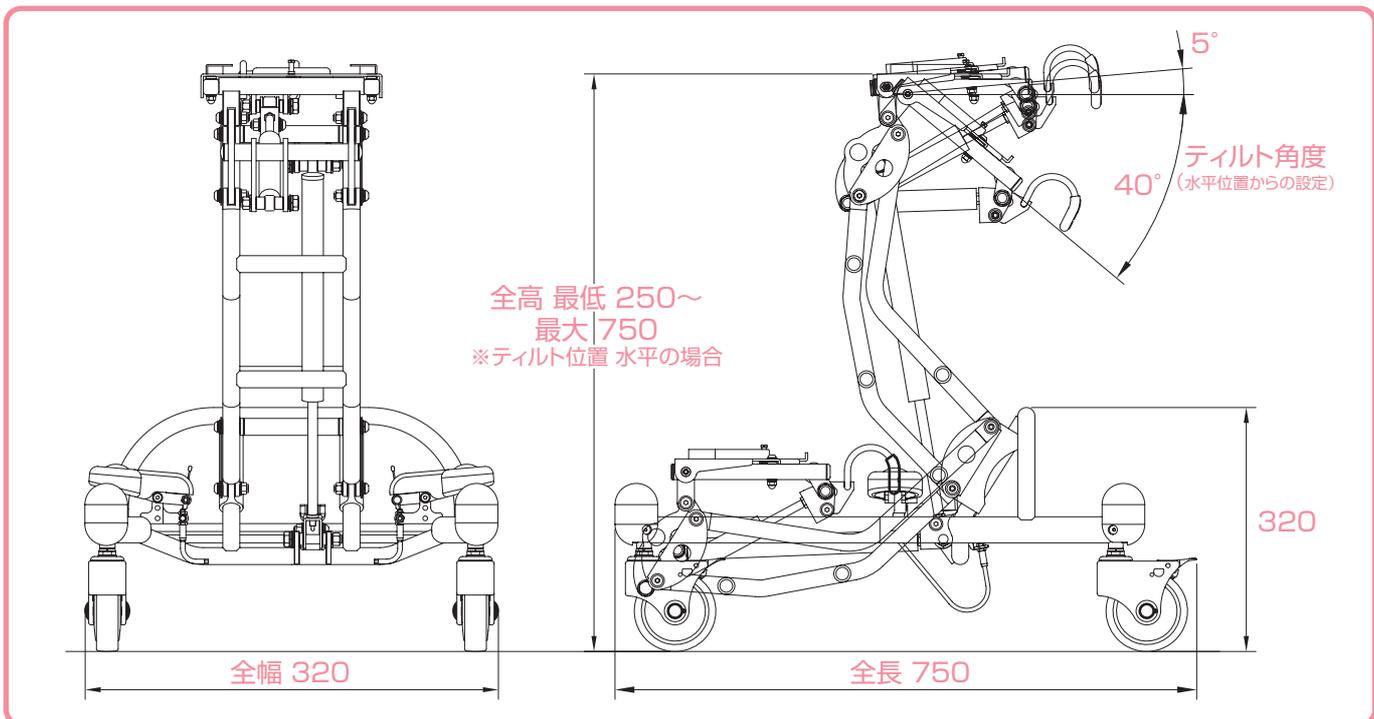
していただく

お家でミント

各部の名称



寸法



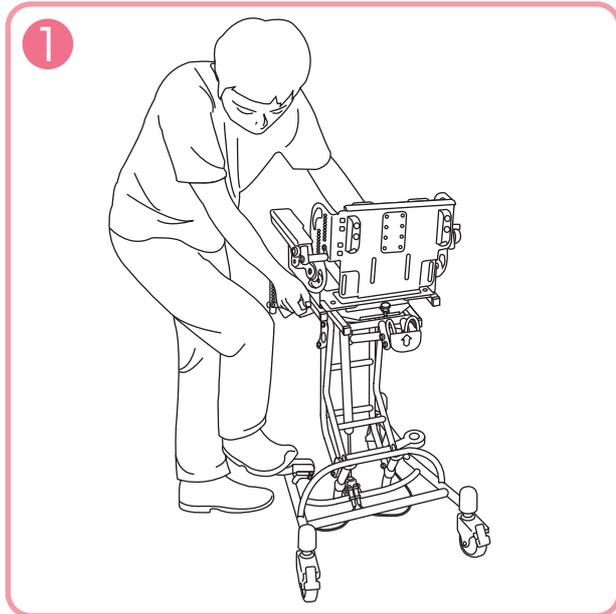
本製品の耐荷重は30kgです。(積載物含む)

各部調整方法

上下昇降の方法

- 本体左右に設けてあるペダルを踏むと昇降操作が行えます。必ずシートを支えながらゆっくり操作してください。

- ① シートを支えながらペダルを踏む。



- ② おろす時は斜め前下方向に、あげる時は斜め後上方向に昇降を行い適切な位置でペダルを離すとその位置で固定されます。

⚠ 注意

- 必ずブレーキをロックし、本体が動かないことを確認してから操作してください。
(不意に動き、転倒・転落事故の原因となります。)

していただく

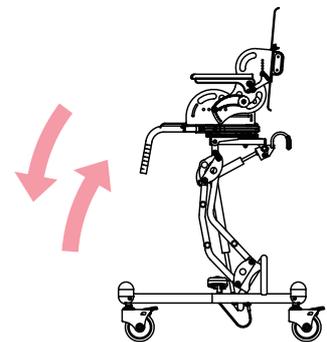
⚠ 注意

- 昇降操作時はシート(台座)部分を持ってください。フレーム部分などを持たないでください。
(手や指などはさんでケガをする恐れがあります。)

してはいけない

⚠ 警告

- 昇降操作はシート(台座)部分を支えながらゆっくり行ってください。人が乗っていない状態(シートシェルを取り付けていない状態)では強力なバネ(ガススプリング)の作用により、急に台座が上昇します。人が乗っている状態では、人の重みで急に下降する場合があります。
特に小さなお子様は操作したりしないように十分注意してください。
(顔や手などをぶついたり、手や足がはさまり、ケガをする恐れがあります。)



していただく

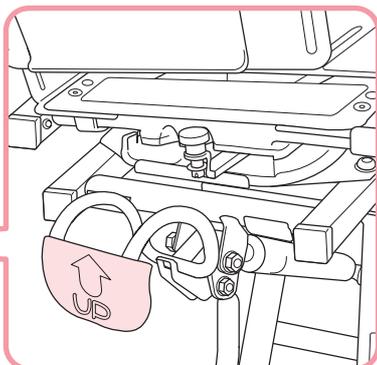
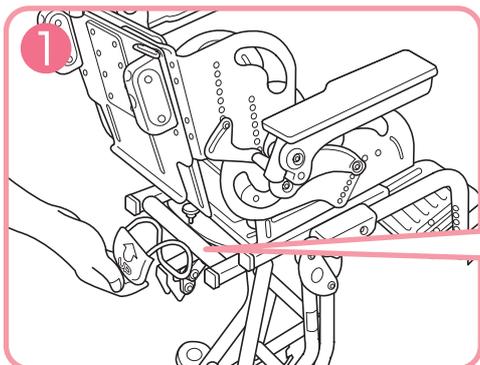
⚠ 注意

- 昇降操作時の際の動作範囲を確認して使用してください。昇降操作に周囲と接触したりしないか確認してから操作してください。
(人や物を傷つけたり、壊したりする恐れがあります。また本体の故障の原因になります。)

していただく

ティルト操作の方法

① シートを支えながらレバーを上げる。



② 座面角度の調整を行い適切な位置でレバーを離すとその位置で固定されます。

●台座後部にあるティルトレバーによって、座面の角度を調整することができます。必ずシートを支えながらゆっくり操作してください。

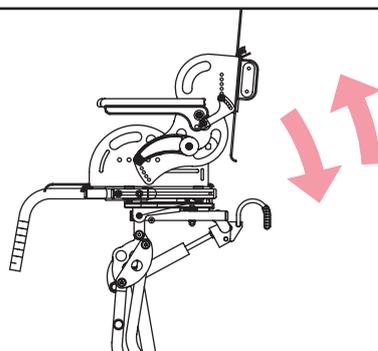
注意

- 必ずブレーキをロックし、本体が動かないことを確認してから操作してください。（不意に動き、転倒・転落事故の原因となります。）
- ティルト操作時はシート（台座）部分を持ってください。ガスシリンダ部分などを持たないでください。（手や指などをはさんでケガをする恐れがあります。）

していただく

注意

- ティルト操作は必ずシート（台座）部分を支えながらゆっくり行ってください。人が乗っていない状態（シートシェルを取り付けていない状態）では強力なバネ（ガススプリング）の作用により、急に台座部分が傾きます。特に小さなお子様は操作したりしないように十分注意してください。（顔や手などをぶついたり、手や足がはさまり、ケガをする恐れがあります。）



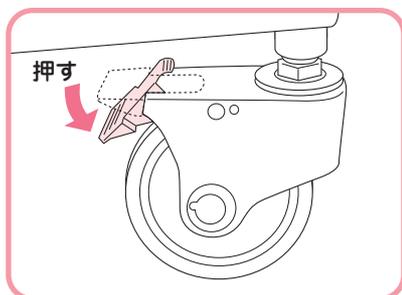
していただく

4インチストッパー付キャスタ

●ロックペダルを押すとブレーキがかかり、キャスタの旋回と車輪の回転がロックされます。

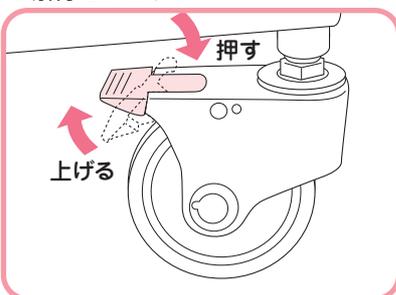
ロックの仕方

ロックペダルを押してブレーキをかける。



解除の仕方

ロックペダルの前方を押すか、ロックペダルの後方を上げると、ブレーキが解除されます。



注意

- 4インチキャスタの車輪を押さえる（凸凹形状の）部分のゴミを取り除いてください。（ゴミがたまると車輪が回転しにくくなったりブレーキがかからない場合があります。）



していただく

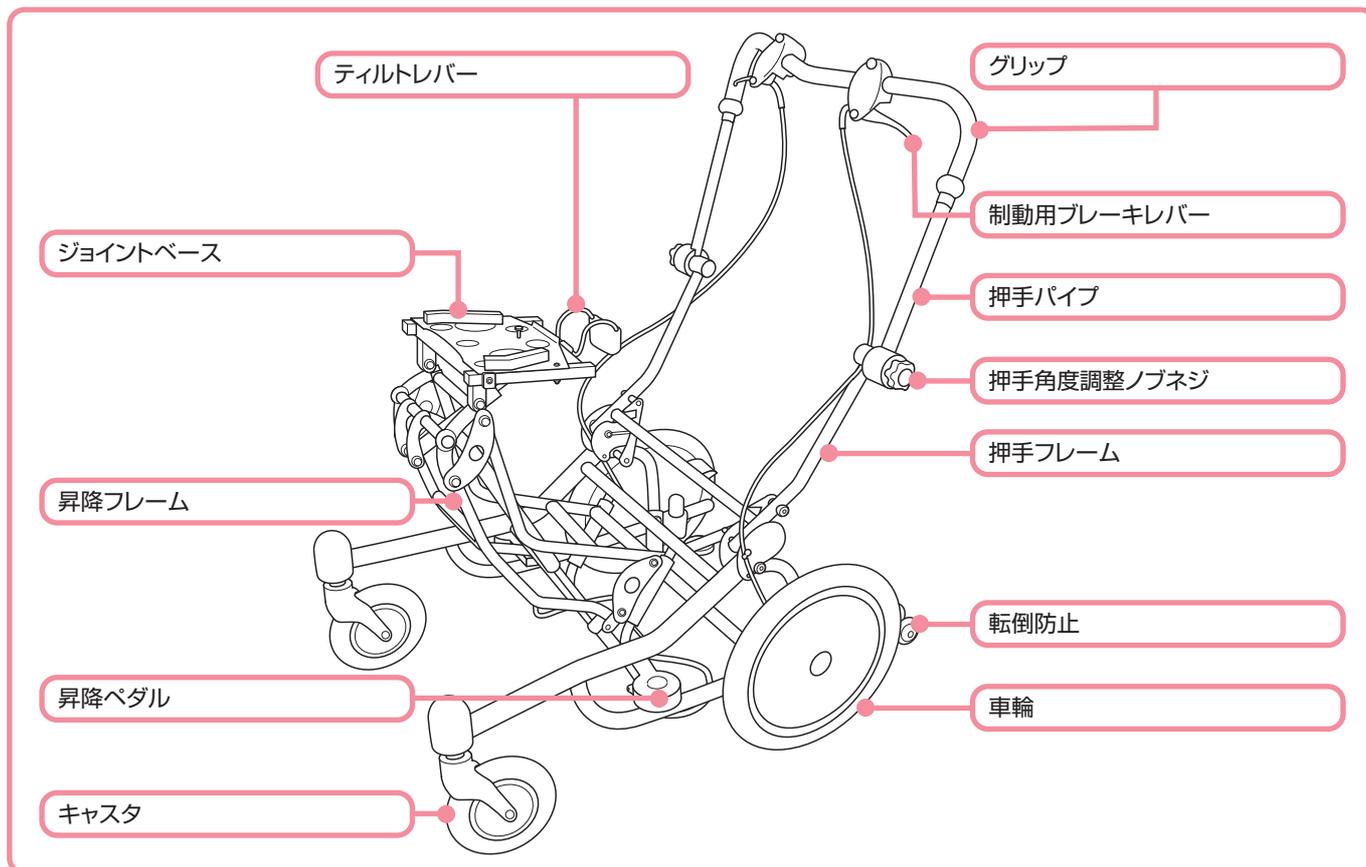
警告

- 昇降操作・ティルト操作時は、ブレーキをかけてください。不意に車いすが動き、転倒・転落等事故の原因となります。

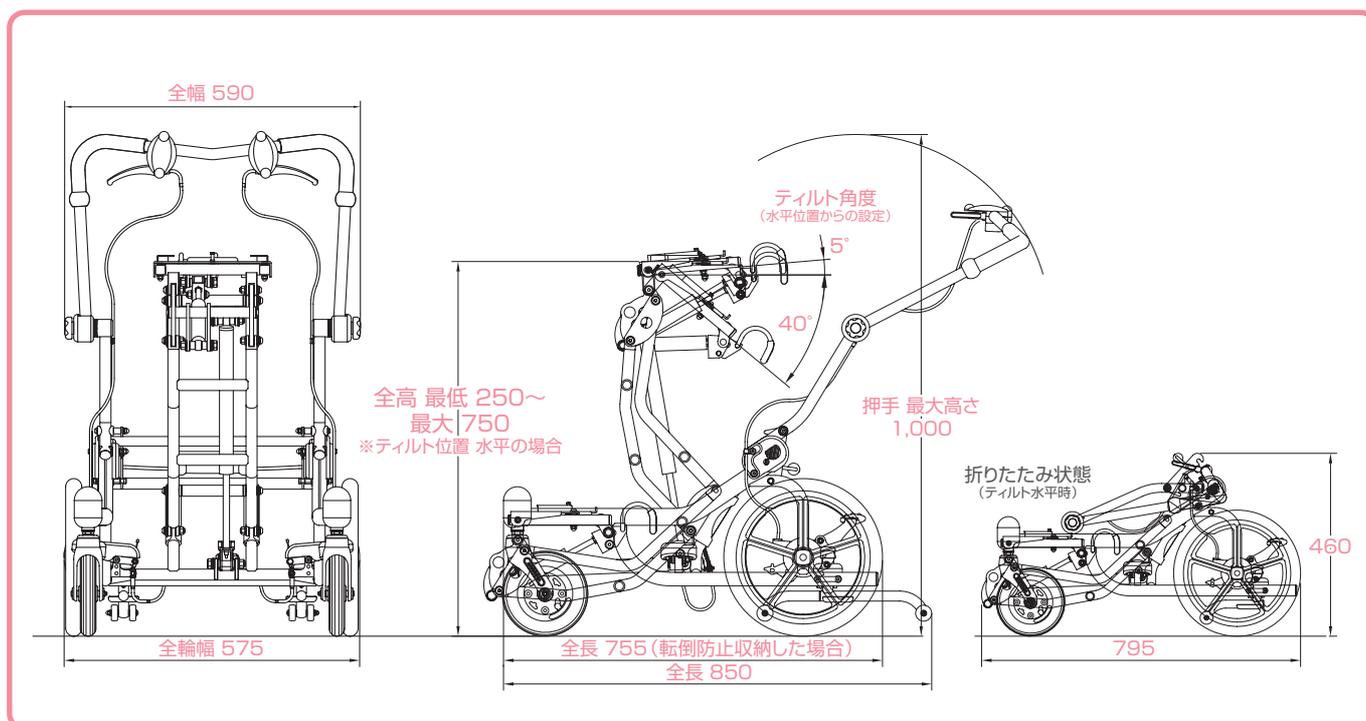
していただく

おでかけミント

各部の名称



寸法

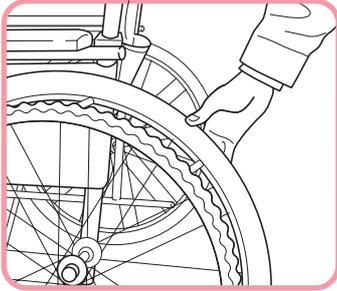


本製品の耐荷重は30kgです。(積載物含む)

各部調整方法

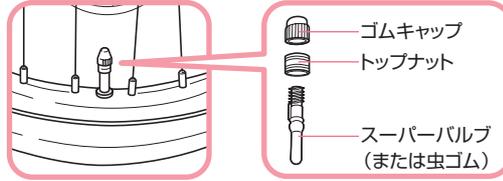
ご使用の前に

- ご使用前に安全にご使用していただくため、次の確認をお願いします。
 - ・タイヤの摩耗・亀裂はないか。・タイヤの空気圧は、適正か。
 - ・ブレーキに異常はないか。・ブレーキをロックした時、駆動輪・主輪が回転しないか。
- タイヤを親指で押し、容易にへこむ場合は、エアを自転車用空気入れで補充してください。



※適正空気圧
350kPa

タイヤの空気バルブの
トップナットが緩んで
いないか確認してください。



タイヤの空気がすぐに抜けるときは、スーパーバルブ(または虫ゴム)を交換してください。(自転車と共通です。)

警告

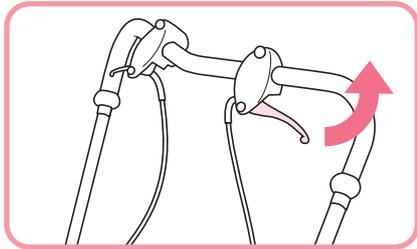
- タイヤの空気圧が少ない状態で、使用しないでください。
(ブレーキのロックが出来なくなり、車いすが動いたりして、事故の原因となります。また、タイヤのパンクの原因となります。)

してはいけない

ブレーキの使用方法

制動用ブレーキ

- レバーを握るとブレーキがかかります。
- レバーを離すと解除します。



介助者の方が走行中や下り坂での減速及び停止にご使用ください。

注意

- 急ブレーキをかけないでください。
(車いすに乗っている方が前方へ転倒する恐れがあります。)

してはいけない

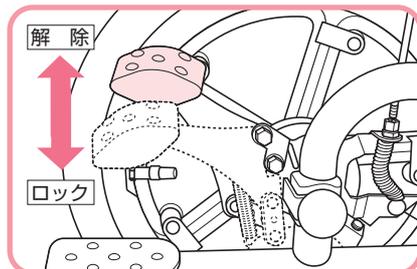
注意

- 介助者の方は、制動用ブレーキレバーを両側同時にかけてください。
(バランスを崩し、転倒事故の原因となります。)

していただく

ドラロック(フットブレーキ)

ドラム式介助ブレーキ(制動用ブレーキ)にフットブレーキを一体化したブレーキです。ドラム部分でロックするため、タイヤの空気圧に関係なく安定した制動力がえられます。



- ブレーキペダルを足で踏み込むとロックします。
- 上げるとロックが解除されます。

注意

- ブレーキをロックしたまま制動用ブレーキを使用しないで下さい。
(故障の原因となります。)

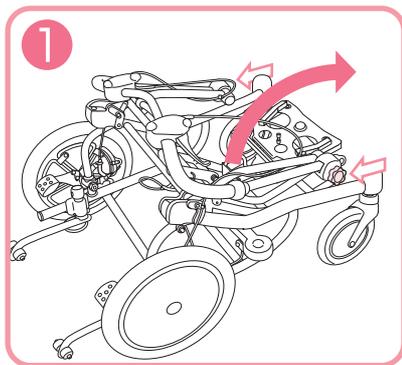
してはいけない

拡げ方・折りたたみ方

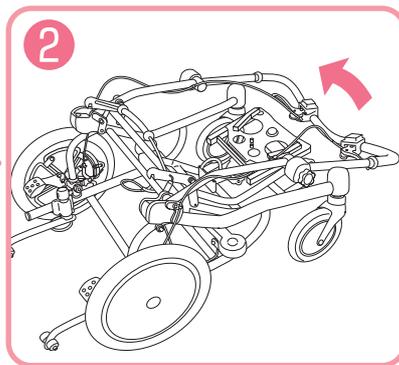
● 押手部分を折りたたむことができ、収納時車への積み込み時に便利です。

拡げ方

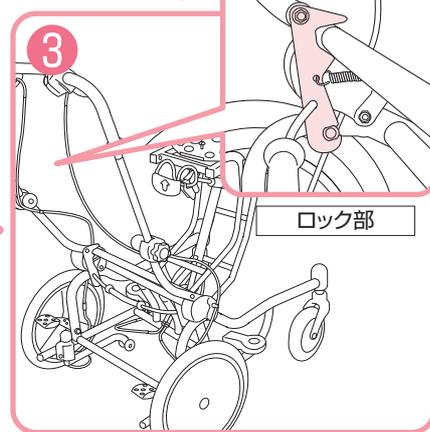
① 左右の押手角度調整ノブネジをゆるめ押手パイプを起こします。



② 押手フレームを起こします。



③ 最後まで起こすとロックされます。



④ 押手フレームが固定されていることを確認し、押手の高さを調節 (P.23参照) し、使用してください。

⚠ 注意

● 押手パイプ、押手フレームを折りたたんだ状態のまま、昇降レバーを操作しないでください。
(押手部分に昇降フレームが引っかかり故障の原因となります。)

してはいけない

⚠ 注意

● 必ず押手 (パイプ・フレーム) が固定されていることを確認してから使用してください。
(押手が急に倒れ、ケガや転倒事故の原因となります。)
● フレームを拡げる際にワイヤーが引っかからないように注意してください。
(故障・破損の原因となります。)

していただく

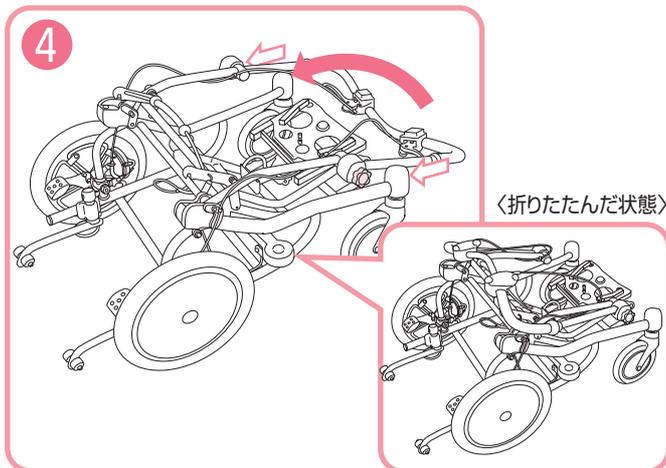
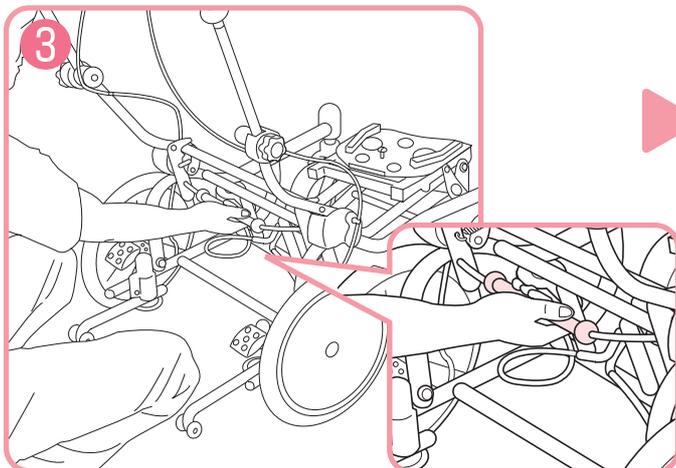
折りたたみ方

① まずブレーキをロックしてください。
(P.19参照)

② シートシェルを外し (P.14参照)、
フレームを降ろします (上下昇降の方法参照)。

③ ロックを解除し、押手フレームを
前方へ倒します。

④ 左右押手のノブネジをゆるめ
後方へ倒します。



⑤ 左右押手のノブネジを締めてください。

⚠ 注意

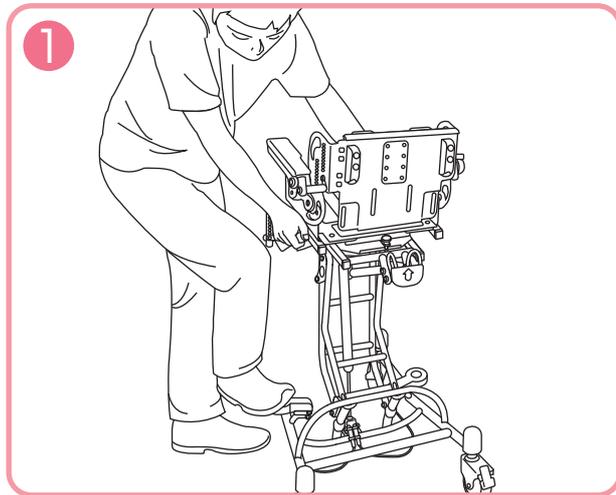
- 必ずブレーキをロックしてから折りたたんでください。
(不意に車いすが動き、転倒・転落事故の原因となります。)
- 必ずシートシェルは外し、フレームは降ろした状態で押手(パイプ・フレーム)を折りたたんでください。
(押手部分と昇降フレームが引っかかり故障の原因となります。)

していただく

上下昇降の方法

- 本体左右に設けてあるペダルを踏むと昇降操作が行えます。必ずシートを支えながらゆっくり操作してください。

- ①シートを支えながらペダルを踏む。



- ②おろす時は斜め前下方向に、あげる時は斜め後上方向に昇降を行い適切な位置でペダルを離すとその位置で固定されます。

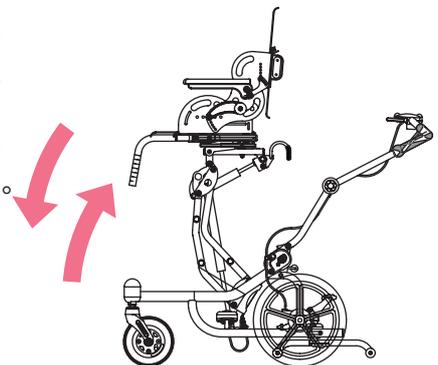
⚠ 注意

- 必ずブレーキをロックし、本体が動かないことを確認してから操作してください。
(不意に動き、転倒・転落事故の原因となります。)
- 昇降操作時はシート(台座)部分を持ってください。フレーム部分などを持たないでください。
(手や指などをはさんでケガをする恐れがあります。)

していただく

⚠ 警告

- 昇降操作はシート(台座)部分を支えながらゆっくり行ってください。人が乗っていない状態(シートシェルを取り付けていない状態)では強力なバネ(ガススプリング)の作用により、急に台座が上昇します。人が乗っている状態では、人の重みで急に下降する場合があります。
特に小さなお子様は操作したりしないように十分注意してください。
(顔や手などをぶついたり、手や足がはさまり、ケガをする恐れがあります。)



していただく

⚠ 注意

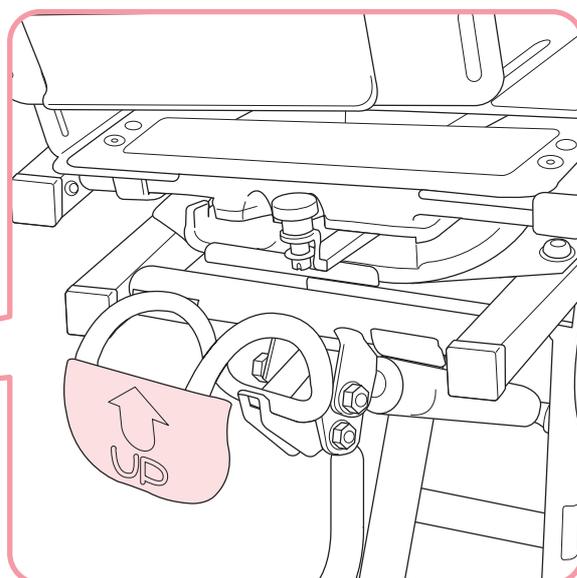
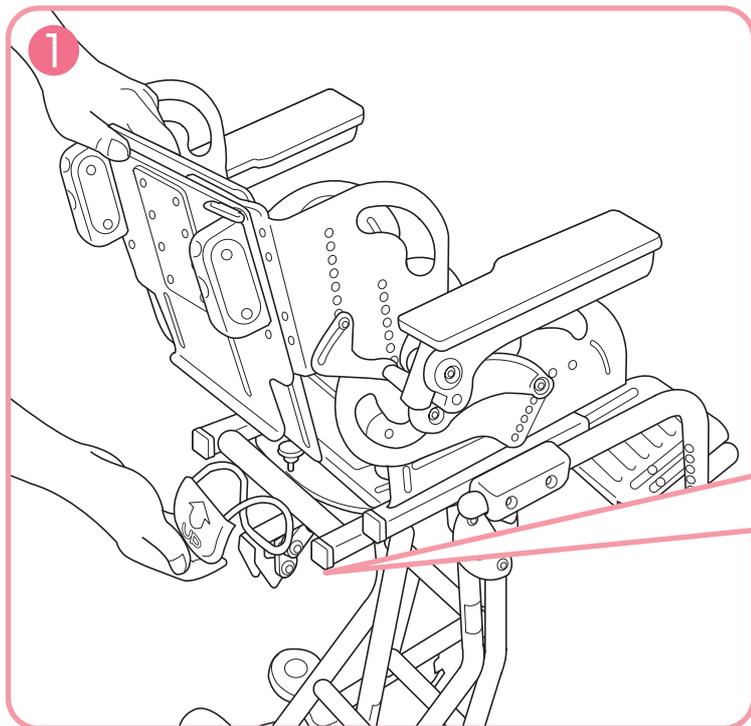
- 昇降操作時の際の動作範囲を確認して使用してください。昇降操作に周囲と接触したりしないか確認してから操作してください。
(人や物を傷つけたり、壊したりする恐れがあります。また本体の故障の原因になります。)

していただく

ティルト操作の方法

●台座後部にあるティルトレバーによって、座面の角度を調整することができます。
必ずシートを支えながらゆっくり操作してください。

①シートを支えながらレバーを上げる。



②座面角度の調整を行い適切な位置でレバーを離すとその位置で固定されます。

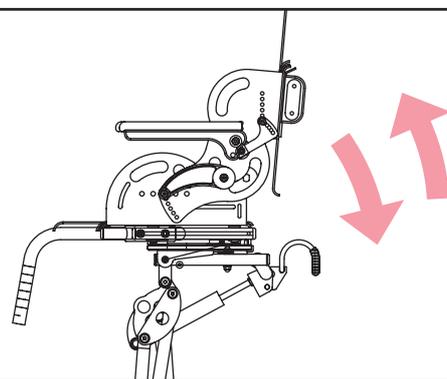
⚠ 注意

- 必ずブレーキをロックし、本体が動かないことを確認してから操作してください。
(不意に動き、転倒・転落事故の原因となります。)
- ティルト操作時はシート(台座)部分を持ってください。ガスシリンダ部分などを持たないでください。
(手や指などははさんでケガをする恐れがあります。)

していただく

⚠ 注意

- ティルト操作は必ずシート(台座)部分を支えながらゆっくり行ってください。人が乗っていない状態(シートシェルを取り付けていない状態)では強力なバネ(ガススプリング)の作用により、急に台座部分が傾きます。
特に小さなお子様は操作したりしないように十分注意してください。
(顔や手などをぶつけたり、手や足がはさまり、ケガをする恐れがあります。)

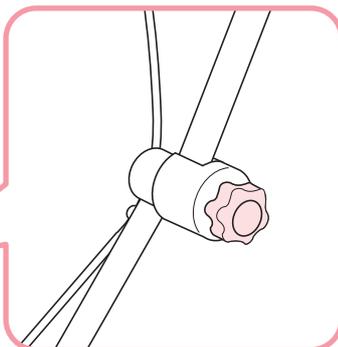
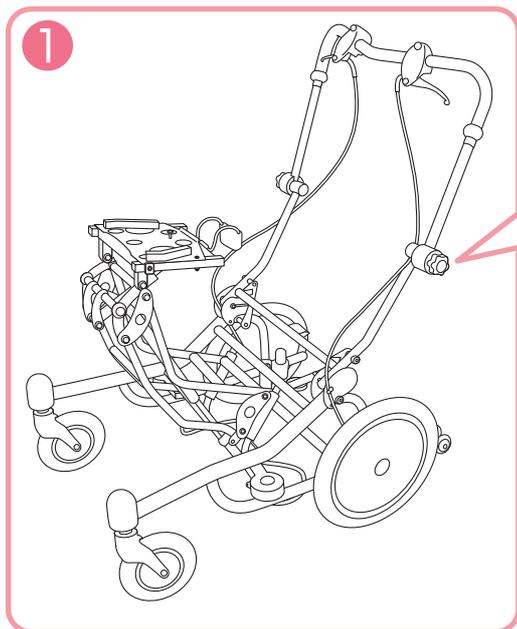


していただく

押手の使用方法

●介助者に合わせて、押手の高さを調整することができます。

① 左右のノブネジをゆるめ押手を前後に動かし位置を調整します。



② 適切な位置で左右両方のノブネジをしっかりと締めてください。

警告

●必ず押手が固定されていることを確認してから使用してください。
(押手が急に倒れ、ケガや転倒事故の原因となります。)

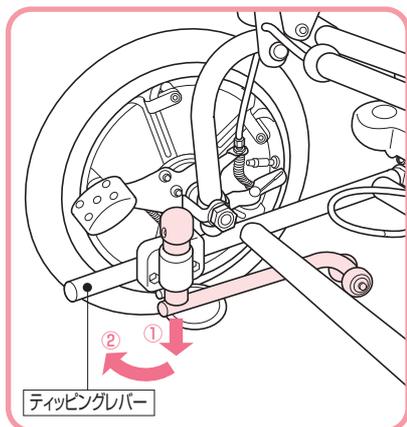
していただく

転倒防止の使用方法

●本体が後方へ転倒しないようにします。必要のない時は収納することもできます。

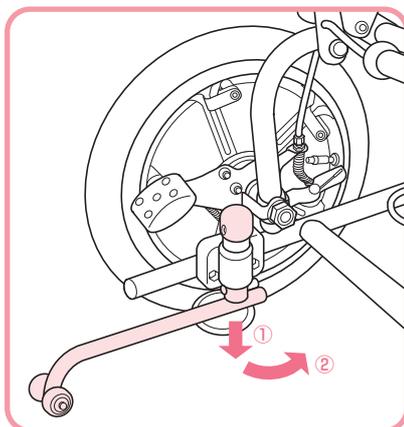
使用する場合

① 下へ押しながら
② 後方へ回転させます。



収納する場合

① 下へ押しながら
② 前方へ回転させます。



昇降動作をする時は必ず使用してください。
後方に人がいる時以外は必ず使用してください。

使用する場合、収納する場合共に転倒防止装置が固定されていることを確認してから使用してください。

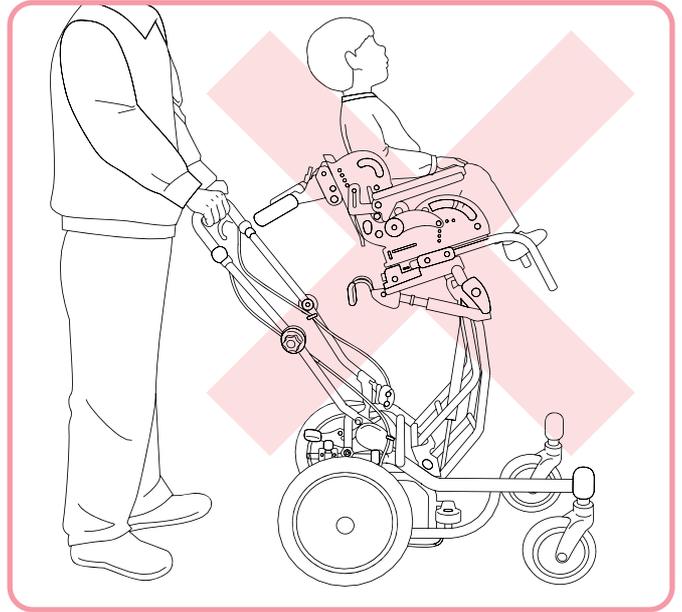
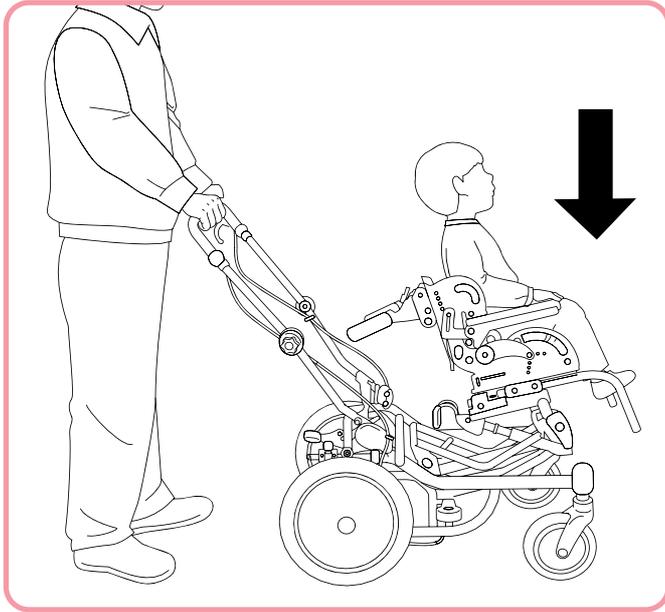
注意

●必ず転倒防止装置が固定されていることを確認してから使用してください。
(転倒防止の役目を果たさず、転倒事故の原因となります。)

していただく

介助の仕方

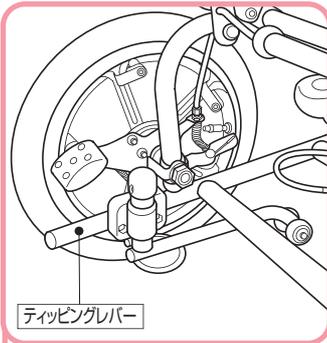
移動する際は、シートシェルを出来るだけ低い位置に下げて操作してください。



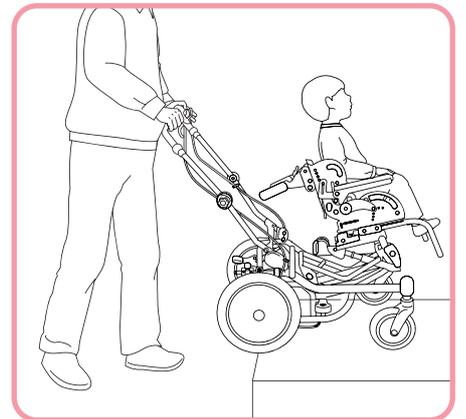
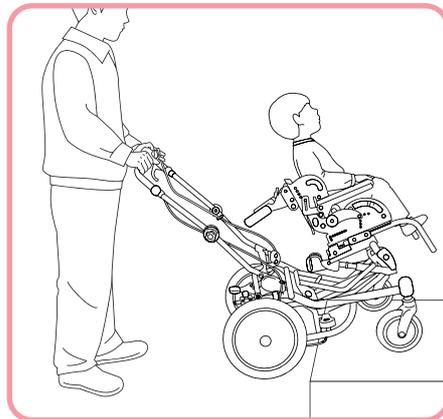
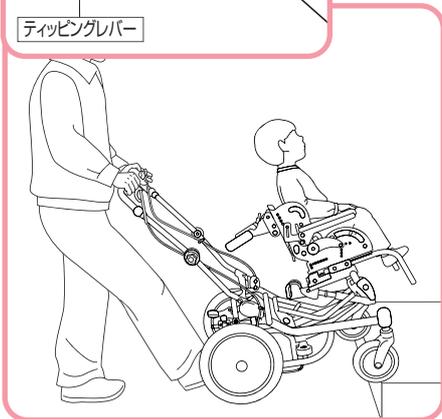
⚠ 注意

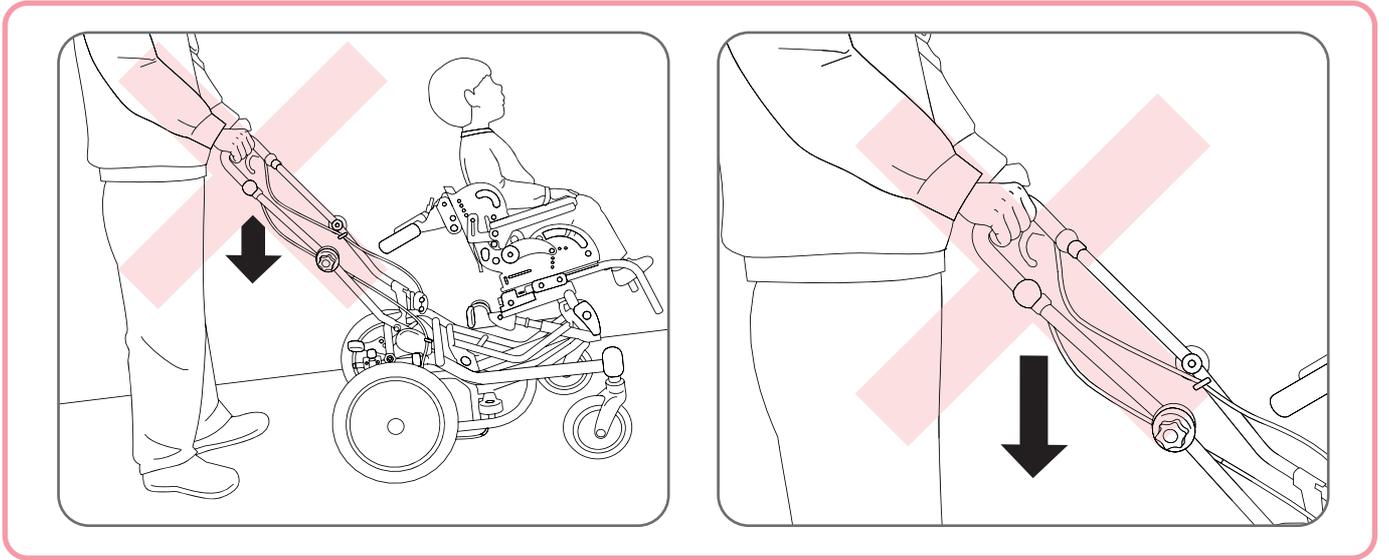
- シートシェルは出来るだけ低い位置で移動してください。
(転倒・転落して事故の原因となります。)
- 使用者の足が地面や壁などの障害物に当たらないように確認して走行してください。

していただく



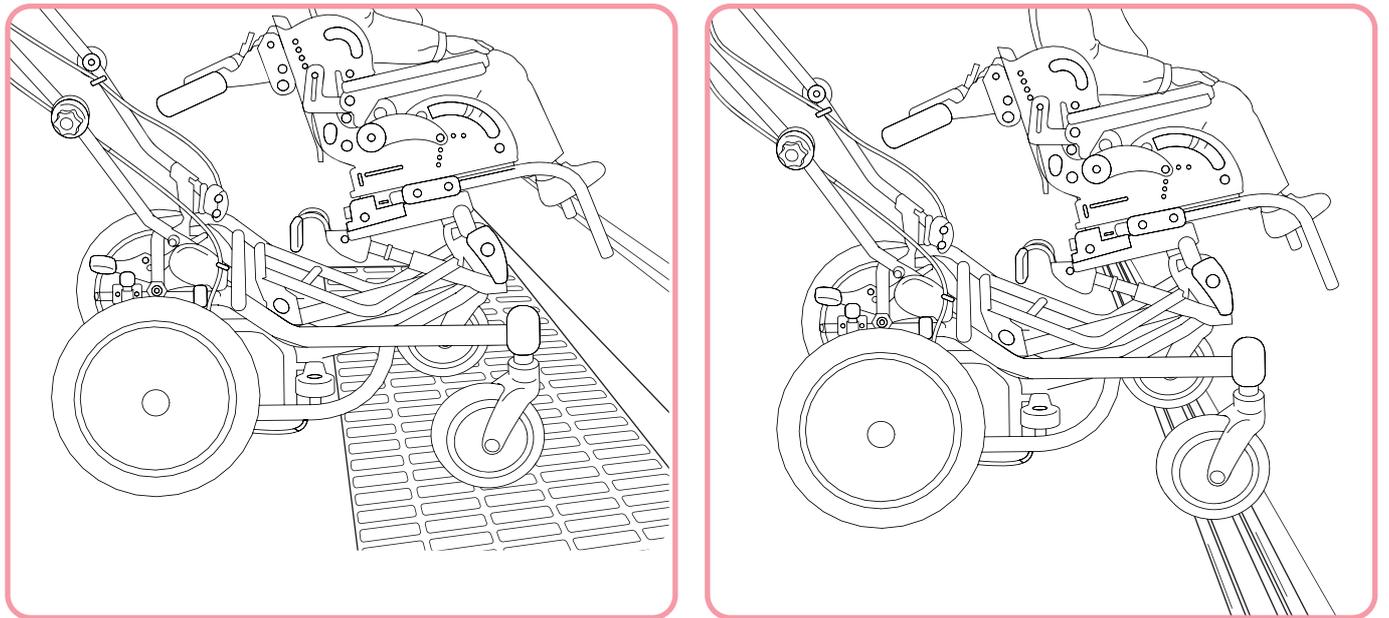
段差を乗り越える場合は、介助者はティッピングレバーを踏んでキャスト(前輪)を上げ、段差に乗せてから、後輪を浮かし乗り越えてください。





 注意	<ul style="list-style-type: none"> ●バックサポートパイプのみで、キャスト(前輪)を上げないでください。 (バックサポートパイプが曲がったり、折れたりして、転倒して事故の原因となります。) ●スピードをつけて、乗り越えようとししないでください。 (使用者が車いすから、転落して事故の原因となります。)
---	---

してはいけない



 警告	<ul style="list-style-type: none"> ●側溝の格子蓋、踏み切りのレール溝にキャストが落ち込まないように注意してください。 (車輪が溝にはまって車いすが急に止まり使用者の体が前方に傾き、転落転倒事故の原因となります。)
---	---

していただく

【介助者の方へ】

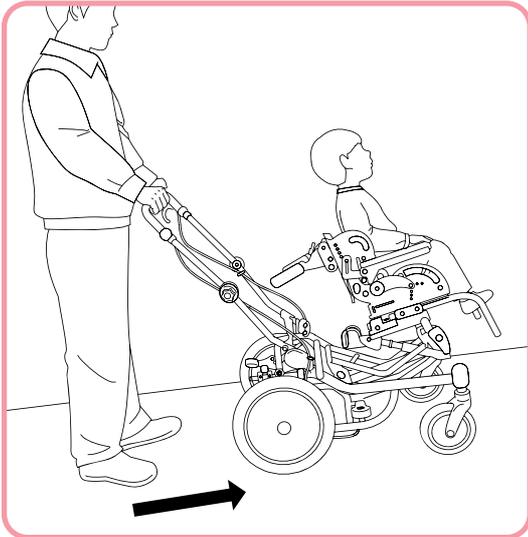
 注意	<ul style="list-style-type: none"> ●移動中つま先が障害物に当たらないように、確認して走行してください。 ●フットプレートに、足が乗っているか確認して走行してください。
---	---

していただく

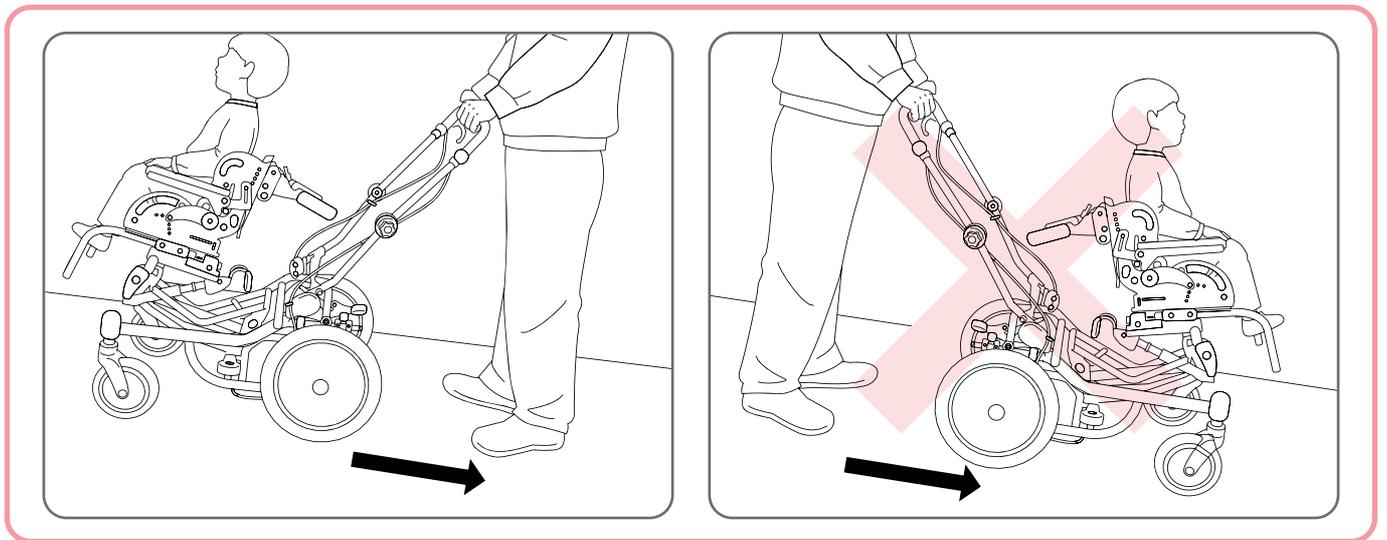
外出時の注意

坂道の登り下りでご使用される場合は、車いすの向きに注意してください。

登り坂



下り坂



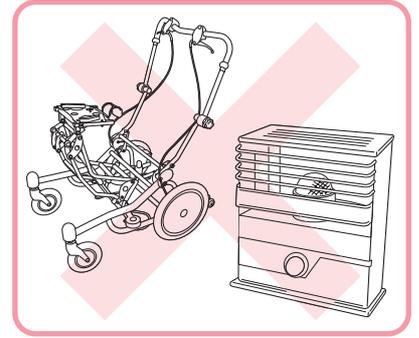
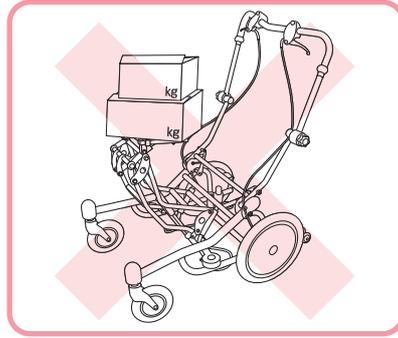
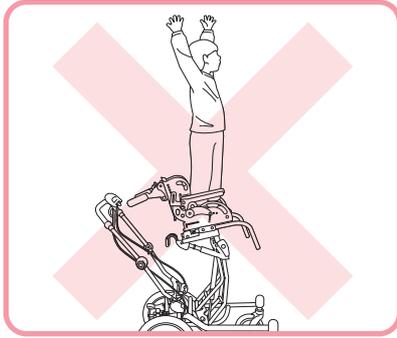
⚠ 注意

- 坂道を下るとき介助者の方は、車いすを後ろ向きでゆっくり確認しながら走行してください。
(前向きで下ると、乗っている人がずり落ちたり前のめりとなり、転倒事故の原因となります。)

していただく

共通事項

その他の注意事項



警告

- シート台座の上で立ち上がらないでください。
(転倒事故の原因となります。)

してはいけない

注意

- 荷物を運んだりしないでください。
- 火気の近くに置かないでください。
(タイヤがパンクしたり、シートが燃え火災の原因となります。)

してはいけない

もしこんなトラブルが発生したときは

車いすをご使用されていて故障かなど、思うトラブルが発生したら、修理を依頼するまえに下記項目を確認してください。

トラブル	確認点	対処
タイヤの空気が少ない	・タイヤの空気圧は適正ですか	空気を入れてください
空気を入れてもすぐに抜ける	・タイヤの空気入れ部のトップナットは、しっかり締まっていますか	しっかり締め直してください(P.19)
	・スーパーバルブ(または虫ゴム)が劣化していませんか	スーパーバルブ(または虫ゴム)を交換してください(P.19)
走行操作が重い	・タイヤの空気圧は適正ですか	空気を入れてください
	・駆動輪・キャストに髪の毛、ビニールが巻きついていませんか	取り除いてください
真っ直ぐ走らない	・キャスト(前輪)が片べりしていませんか	取扱店にご連絡してください
制動用ブレーキが効かない	・ワイヤーがねじれていませんか	ワイヤーのねじれを調整してください
	・ワイヤーの遊びが多くありませんか	取扱店にご連絡してください
ブレーキが効かない	・タイヤの空気圧は適正ですか	空気を入れてください
	・タイヤは摩耗していませんか	取扱店にご連絡してください

車いすのお手入れ方法

■清掃は水につけたタオルを強くしぼり、泥やホコリを拭き取った後に乾いた布で仕上げ拭きをしてください。

揮発性剤（シンナー・ベンジン・アルコール類）では、清掃しないでください。変色したり、劣化の原因となります。

ホースなどで直接水をかけないでください。車輪及びフレーム内部・ブレーキ部等に水滴が残り、錆の原因となります。

■タイヤの空気圧を適正に保ってください。
空気圧が少ないときは、補充してください。

■タイヤには、ひび割れを防ぐ為に老化防止剤が配合されていますので、次のような環境及び薬剤はさけてください。タイヤの劣化を促進させ、ひび割れの発生原因となります。



- オゾン (O₃)
- 光線(日光)、熱・伸張等の機械的作用。
- 銅・マンガンのような金属の塩、石鹼などの容易に酸化される物質。
- シリコン系ワックス（自動車タイヤ用ツヤ出し剤、潤滑剤（錆落とし含む））。

■車いすに異常がある場合は、取扱店で点検・修理をおこなってください。
その状態で使用されると、使用中に破損し、事故の原因となります。

- タイヤの劣化・ひび割れ・空気漏れ
- フレームのひび割れ・曲がり・ガタツキ
- 各部固定部品の変形
- 駆動輪・キャストの変形
- ボルト・ナット・ビスの緩み
- 制動用ブレーキ・ブレーキの効き具合

保管場所

次のようなところでは、保管しないでください。
故障の原因となります。

- 雨に濡れるようなところ
- 直射日光が当たるようなところ
- 湿気の多いところ
- 高温室になるところ
- 炎天下なところ

保証

●保証期間は、お買上げ後1カ年です。（本体、付属品共）

ただし、次の場合は、保証期間中でも有償修理とさせていただきます。

1. 火災、天災による故障・損傷の場合
2. 取扱説明書に記載の使用方法、ご注意に反するお取扱いによって発生した故障の場合
3. 無断仕様変更及び、改造による故障の場合
4. タイヤの摩耗、パンク、シートはやぶれ、ブレーキ、制動用ブレーキ等のワイヤー、ブレーキゴム等の消耗品、及び各部の劣化による故障、損傷の場合
5. 修理に要した運賃等の諸経費

●この保証書は日本国内のみ有効です。（P.30）

アフターサービス

万一故障の場合は、お買上げいただきました販売店、または松永製作所へ保証書ご持参の上、修理をお申しつけください。

車いす 点検シート

安全にご使用していただくために、ご自身・お買い求めの販売店(有料)で定期的に点検をしていただくようお願いいたします。

(長期間ご使用にならなかった場合は、ご使用前に点検をしてください)

点検の結果、異常があった場合はご使用にならず、調整・部品交換をしてからご使用ください。

点検項目		年月日				
		点検者				
キャスタ(前輪)	亀裂・キズの有無					
	キャスタの摩耗					
	スムーズな回転					
フォーク	損傷の有無					
	スムーズな旋回					
後輪	タイヤの空気圧					
	タイヤの摩耗					
	スムーズな回転					
フレーム	各部キズの有無					
	ボルト・ナットの緩み					
	スムーズな昇降					
ブレーキ	ブレーキの利き					
シートシェル	シートの破れ・損傷					
	固定ネジの緩み					
フットサポート (オプション)	固定ボルトの緩み					
	プレートの破損					
アームサポート	固定ボルトの緩み					
	パッドの破損					
その他						



株式会社 松永製作所

〒503-1272 岐阜県養老郡養老町大場484
TEL 0584-35-1180(代) FAX 0584-35-1270
URL <http://www.matsunaga-w.co.jp>